わかる、できる、役に立つ!!

Windows 98 活用

Windows95の操作も、
この一冊でらくらくマスター！

ファイル管理の基本を
やさしく説明。
保存もコピーもOK！

デスクトップの基本を紹介。

PC98-NX SERIES
VALUESTAR NX

マニュアルを読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

❶ まずこれ!

❷ 次にこれ!

❸ 目的に合ったマニュアルを選んで読む

お使いのパソコンの中にある『パソコン探検箱』には、マニュアルの紹介など役立つ情報があります。

添付の『安全にお使いいただくために』は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1　接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2　入門
キーボードで文字を打ってみたい	STEP 2　入門
ワープロを使いたい	STEP 2　入門
インターネットを利用したい	インターネット入門
FAX機能を利用したい	リファレンス
プリンタをつなぎたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 95について知りたい	STEP 3　活用
デスクトップについて知りたい	STEP 3　活用
パソコンの中に入っているソフトを使いたい	リファレンス
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときのQ&A
パソコン用語の意味を知りたい	困ったときのQ&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときのQ&A
再セットアップしたい	困ったときのQ&A

はじめに

この本は、『STEP 1　接続と準備』と『STEP 2　入門』を読み終えた方を対象にしています。

この本では、パソコンを使いこなしていくための土台になる、Windows の基本操作を中心に説明します。パソコンをしばらく利用してから、データの保存場所や自分で作った文書の管理などについて、より深く知りたくなったときに、この本が役に立ちます。

会社や学校で、パソコンを使っている友人と情報交換したり、市販の参考書や雑誌、テレビのパソコン番組などを見たりするときに、Windows の基礎知識は大切です。この本で、あなたのパソコンライフをより豊かなものにしていただきたいと願っています。

1998 年 6 月　初版

808-881444-163-A

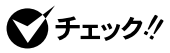
このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でやたらにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	そこまでに説明した手順の中で、とくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
CD-ROMドライブ	VS35/37Aでは、DVD-ROMドライブのことを、それ以外のモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
CRTディスプレイセットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。

ディスプレイなしモデル	**ディスプレイが別売となっているモデルのことです**
CD-ROMモデル	**CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。**
DVD-ROMモデル	**DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。**
一太郎モデル	**一太郎8 、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。**
Wordモデル	**Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。**
ワープロ/表計算なしモデル	**ワープロ/表計算ソフトがインストールされていないモデルのことです。**

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM/CD-R /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VM30/37C	PC-VM3037C	ミニタワータイプ	CD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VM30/37D	PC-VM3037D			(17 インチ CRT)	Word モデル
VS35/37A	PC-VS3537A	デスクトップタイプ	DVD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル (17 インチ CRT)	ワープロ / 表計算なしモデル
VS30/37C	PC-VS3037C		CD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VS30/37D	PC-VS3037D			(17 インチ CRT)	Word モデル
VS30/35C	PC-VS3035C			CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VS30/35D	PC-VS3035D			(15 インチ CRT)	Word モデル
VC23/3XC	PC-VC233XC	コンパクトタイプ	CD-ROM モデル	液晶ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VC23/3XD	PC-VC233XD			(14 インチ液晶)	Word モデル
VE26/37C	PC-VE2637C			CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VE26/37D	PC-VE2637D			(17 インチ CRT)	Word モデル
VE26/35C	PC-VE2635C			CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VE26/35D	PC-VE2635D			(15 インチ CRT)	Word モデル
VE23/35C	PC-VE2335C			CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VE23/35D	PC-VE2335D			(15 インチ CRT)	Word モデル
VE23/35A	PC-VE2335A				ワープロ / 表計算なしモデル
VE23/3ZA	PC-VE233ZA			ディスプレイなしモデル	ワープロ / 表計算なしモデル

◆本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
一太郎8	一太郎8 Office Edition /R.2
Excel、Word、Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows®（Outlook™ 98 バージョンアップCD-ROM添付）
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95/ Windows NT® 4.0

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
一太郎、ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Office8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

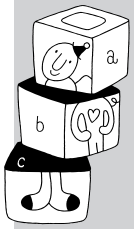
■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

目次 CONTENTS

はじめに i
このマニュアルの表記について ii

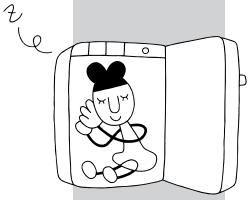
PART 1



デスクトップを使ってみよう 1

デスクトップってなに？ 2
CyberCoach-NX を使ってみる 4
CyberCoach-NX を起動する 4
説明を見る 5
CyberCoach-NX を終わる 5
パソコンの中はどうなっているの？ 6
マイコンピュータを開いてみよう 6
マイコンピュータの中はこうなっている 7
ドライブを開いてみよう 8
Cドライブを開く 8
Cドライブを閉じる 10
エクスプローラの使いかた 11
エクスプローラを起動する 11
エクスプローラの左側を見る 13
エクスプローラの右側を見る 14
このPARTのまとめ 16

PART 2

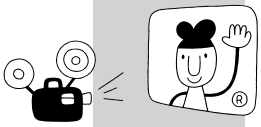


ファイルを整理する 17

どうすれば、整理できる？ 18
フォルダを作って整理すればいい 18
新しいフォルダを作る 19
ひとつめのフォルダを作る 19
ふたつめのフォルダを作る 21
ファイルやフォルダの名前を変える 22
「スタート」から始めよう 23
ペイントを起動する 23
フォルダの中にファイルを保存する 25
ファイルを保存する 25

ペイントを終わる 27
このPARTのまとめ 28

PART 3

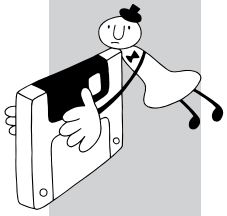


ファイルの移動やコピー 29

ファイルを移動する 30
テスト 1 のフォルダを開く 30
テスト 2 のフォルダを開く 32
ファイルを移動する 34
ファイルをコピーする 36
他のドライブにファイルを移す 37
コピーと移動の使い分け 37
ファイルのコピーと移動の応用テクニック 38
いらないファイルはごみ箱へ 40
ファイルやフォルダを削除する 40
ごみ箱の中のファイルやフォルダを元に戻す 41
ごみ箱の中のファイルやフォルダを完全に削除する 42
ショートカットを作ろう 43
ファイルを探す 45
ファイルを検索する 45
検索結果の見かた 47
このPARTのまとめ 48

目次 CONTENTS

PART 4



フロッピーディスクを使う 49

フロッピーディスクを買ってくる 50
- フロッピーディスクの種類 50
- 結局どんなフロッピーディスクを買えばいいの？ 51
- 磁石に注意！フロッピーディスク 52

フロッピーディスクを使う 53
- フロッピーディスクを用意する 53
- フロッピーディスクを入れる 53
- フロッピーディスクを開く 56

フロッピーディスクにファイルをコピーする 60
- フロッピーディスクを取り出す 62
- 大切なフロッピーディスクはライトプロテクトしよう 65

フロッピーディスクのファイルを開く 66

ファイルの大きさを見る 69

このPARTのまとめ 70

PART 5

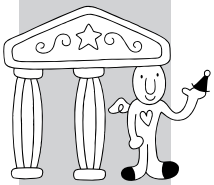
設定を変えてみよう 71

画面の設定を変える 72
- 背景を変える 72
- スクリーンセーバーを使う 74
- 画面の解像度を変える 76
- 画面の色数を変える 78

コントロールパネルを活用する 80
- コントロールパネルを開く 80

ヘルプについて 82
- Windows 95 のヘルプを見る 82

このPARTのまとめ 86



付　録 87

アクティブ デスクトップの設定を変える 88

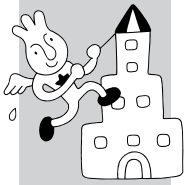
チャンネル バーを消す 88

チャンネル バーを表示する 88

クリックでフォルダを開けるようにする 89

従来の Windows 95 に近いデスクトップにする 90

アクティブ デスクトップの設定に戻す 90



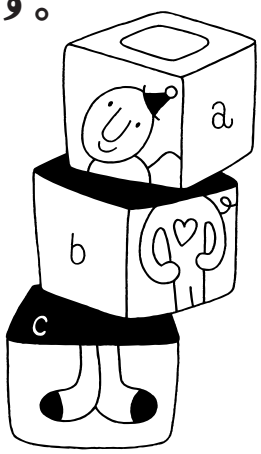
索　引 91

PART

1

デスクトップを使ってみよう

Windows 95の画面をデスクトップといいます。まるで、机の上に便箋やペンを置いて手紙を書いたりするような、そんなイメージです。ここで、ハードディスクの中を見たり、アプリケーションを起動したりすることができます。これを使いやすくして、インターネットの機能を付け加えたのがインターネット エクスプローラ4.01のアクティブ デスクトップ、つまりこのパソコンの画面です。



デスクトップってなに？

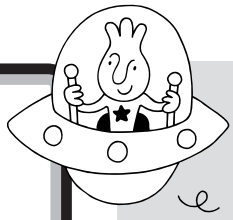
このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。デスクトップには、次のようなものが表示されています。まだ、クリックしたりしないで、どんなものがあるかを見てください。

ランチ-NXのウィンドウが開いているときは閉じましょう。
ランチ-NXのウィンドウは、ウィンドウの右上の [－] をクリックすると最小化（ウィンドウが閉じて、タスクバーにボタンとして表示されること）されます。

チェック!!
まだ、アイコンをクリックしたり、ダブルクリックしたりしないでください。

このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows 95は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows 95の顔なのです。
このデスクトップでできること（たとえば、あなたの作ったファイルを整理したり、コピーしたり、アプリケーションを起動したり）を、これからひとつずつ練習していきましょう。

ポイント デスクトップには、アイコンやタスクバーがある。



CyberCoach-NXを使ってみる

『STEP2 入門』でマウスの練習をしたように、「CyberCoach-NX」を使って、Windows 95の基本的な操作を学ぶことができます。

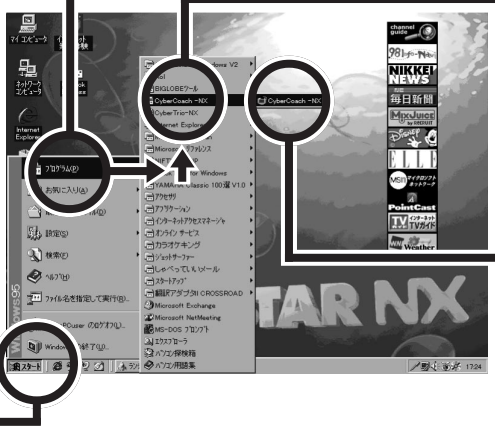
「CyberCoach-NX」を使うと、デスクトップの使い方やウィンドウの操作など、Windows 95の基本的な操作を学ぶことができます。いままで覚えてきたことを忘れてしまったときや、もういちど確認したいときなどに使ってみるとよいでしょう。

CyberCoach-NXを起動する

「CyberCoach-NX」では、画面と音声を使って操作の説明をしています。音声が聞こえるように音量を調整してください。

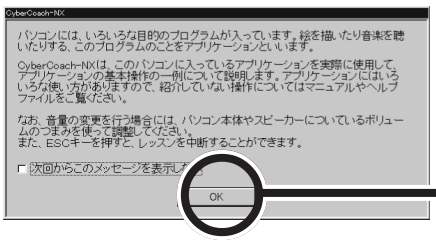
1 「スタート」をクリックし、

2 「プログラム」に を合わせて右側に水平にマウスを動かし、



3 新しく表示されたメニューの「CyberCoach-NX」に を合わせて、

4 表示された「CyberCoach-NX」をクリックする



5 「OK」をクリックする

数秒後に、新しい画面が出てきます。

説明を見る

ここでは、「ウィンドウを操作する」または「デスクトップを使う」を見てみましょう。

1 「ウィンドウを操作する」または「デスクトップを使う」をクリックする

画面と音声で説明が始まります。「ウィンドウを操作する」と「デスクトップを使う」では、マウスの操作などは必要ありませんので、じっくり見て学習しましょう。

2 説明が終わったら、「終了」をクリックする

CyberCoach-NX の最初の画面に戻ります。

CyberCoach-NX を終わる

1 「終了」をクリックする

一部の機種では画面が異なります。

チェック!!

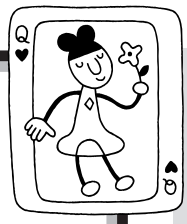
まちがった項目をクリックして、違う画面が表示されたときは、キーボードの【Esc】を押してください。CyberCoach-NXの最初の画面に戻りますので、見たい項目をクリックし直してください。
また、【Esc】を押したあと、「レッスンを中止します。レッスンで起動したプログラムをそのまま使用しますか？」と表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。CyberCoach-NXの最初の画面に戻ることができます。

「ウィンドウを操作する」では、次の説明を見ることができます。

- ウィンドウの移動
- ウィンドウの最大化、最小化
- ウィンドウの大きさを変える

「デスクトップを使う」では、次の説明を見ることができます。

- アイコンについて
- タスクバーについて
- インジケータ領域
- スタートボタン



パソコンの中はどうなっているの？

デスクトップの左上の「マイコンピュータ」を開くと、あなたのパソコンに、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM などがあるのがわかります。

マイコンピュータを開いてみよう

「マイコンピュータ」を開いてみましょう。

1 デスクトップ左上の（マイコンピュータ）まで を動かし、ダブルクリックする

すばやく 2 回クリックする

「マイコンピュータ」のウィンドウが表示される

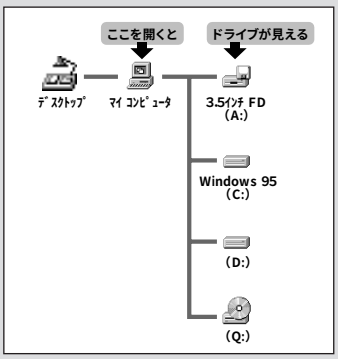
用語

ディスク、ドライブ

ディスクは、コンピュータのいろいろな情報を記録するための円盤で、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMなどの種類があります。

ドライブは、ディスクに情報を記録（保存）したり、呼び出したりする装置です。

このパソコンには、ハードディスクのドライブ、フロッピーディスクのドライブ、CD-ROMのドライブなどがついています。



「マイコンピュータ」のウィンドウが小さいときは、ウィンドウの左側の「マイコンピュータ」のアイコンや解説が表示されません。ウィンドウの右下のすみの の部分に を合わせて、マウスのボタンを押したまま、マウスを右下に動かして、ボタンをはなすと、ウィンドウが大きくなります。

マイコンピュータの中はこうなっている

●ドライブのアイコン

このパソコンには ハードディスクと 3.5 インチフロッピーディスクと CD-ROM（または DVD-ROM）のドライブがあります。

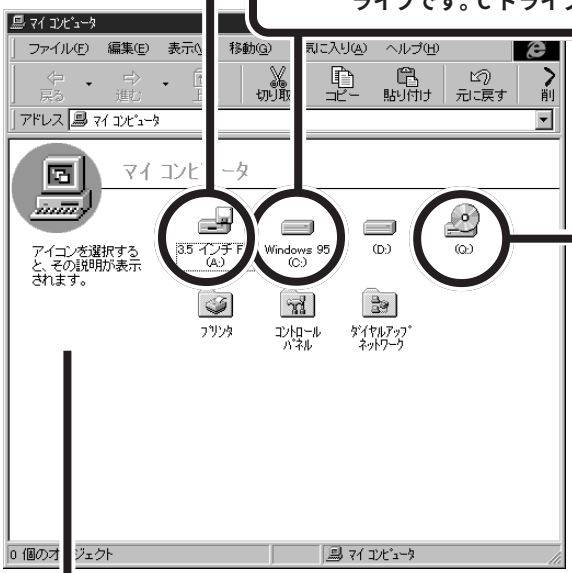
チェック!!

ここではまだドライブのアイコンを開かないでください(ダブルクリックすると開いてしまいます)。

本当は、ハードディスクはひとつしか内蔵されていませんが、いくつかのハードディスクとして使えるように分割されているモデルもあります。購入時に D ドライブがあるモデルでは、D ドライブは空っぽです。

3.5 インチ FD（A:）
フロッピーディスクドライブです。A ドライブともいいます。

Windows 95（C:）
パソコン本体の中のハードディスクドライブです。C ドライブと呼びます。



(Q:)
CD-ROM ドライブです。CD-ROM は読み込み専用なので、この中にファイルやフォルダを保存することはできません。

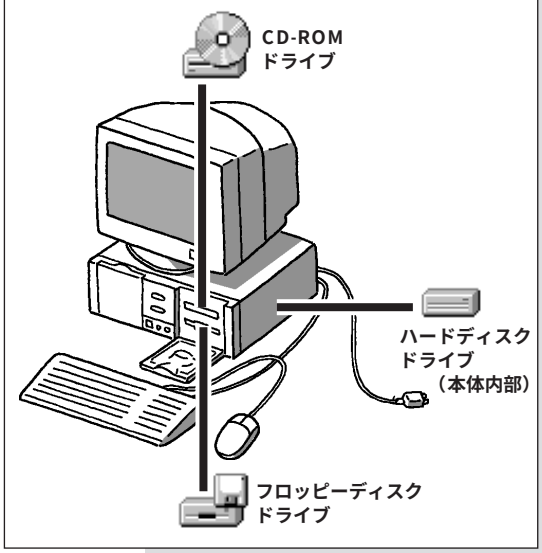
(Q:) は、DVD-ROM モデルでは DVD-ROM ドライブです。

右側のアイコンをクリックすると、そのアイコンが選ばれて、そのアイコンに関することがここに表示されます。

ドライブ以外のアイコンは、あなたのパソコンの設定を変えたりするためのアイコンです。

ポイント
「マイコンピュータ」の中には、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどのドライブのアイコンと、設定するためのアイコンがある。

パソコンでいうと



ドライブを開いてみよう

ドライブやフォルダの中に、どんなファイルやフォルダがあるかを知りたいときは、ドライブやフォルダのアイコンをダブルクリックします。そうすると、ウィンドウが開き、その中にあるファイルやフォルダのアイコンが表示されます。

用語

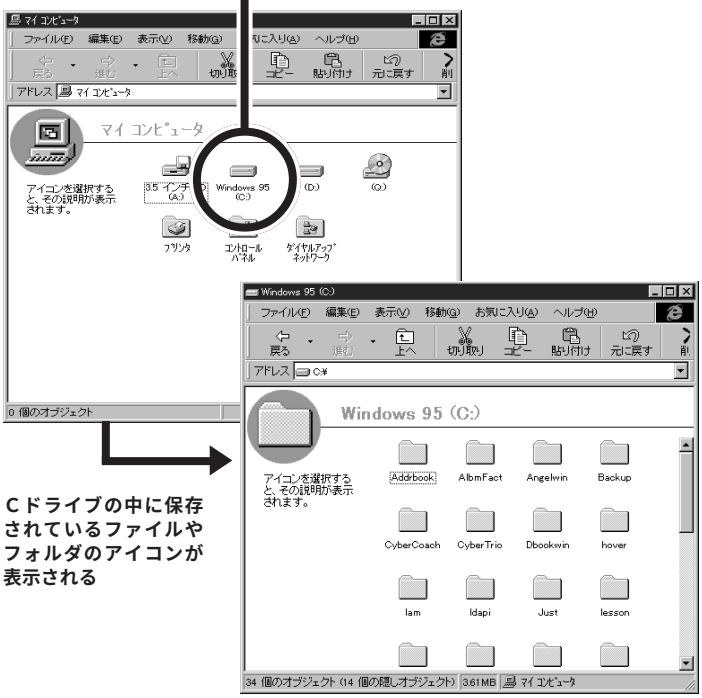
フォルダ

フォルダは、ファイルを整理して保存しておくための入れものです。関連するファイルをまとめて入れておきます。フォルダの中にフォルダを入れておくこともできます。

Cドライブを開く

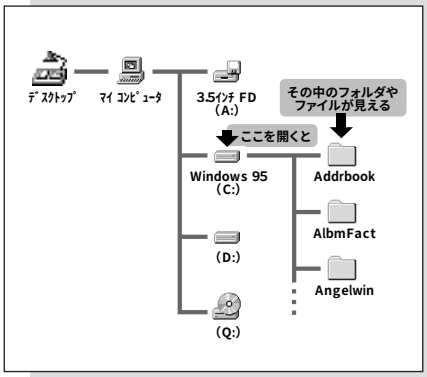
それでは、Cドライブ（Windows 95（C:））の中がどうなっているか見てみましょう。

1 （Windows 95（C:））をダブルクリックする



Cドライブの中に保存されているファイルやフォルダのアイコンが表示される

このような操作を、「ドライブやフォルダを開く」といいます。
フォルダの中のフォルダも、同じように開くことができます。

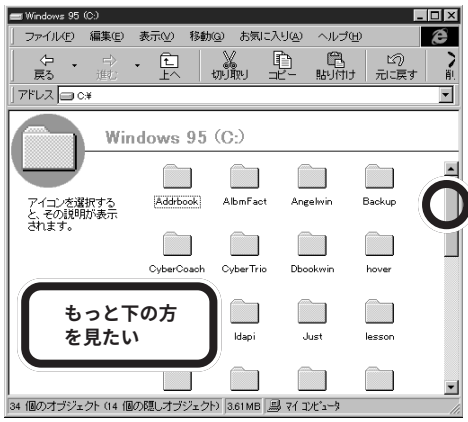


ポイント

ドライブのアイコンを開くと、中のファイルやフォルダを見ることができる。

●ウィンドウのかくれている部分を見る（スクロール）

Cドライブの中身が表示されましたが、これで全部見えているわけではありません。もっと下の方にもフォルダやファイルがあります。ウィンドウをスクロールして、「Windows」というフォルダを探してみましょう。



「Windows」フォルダは見つかりましたか？
見つからなかったら、スクロールのためにドラッグした部分をまた上の方にドラッグして、もう一度、探してください。

チェック!!
「Windows」フォルダは、Windows 95 のシステムが入っている大切なフォルダなので、動かしたりしないでください。

用語

スクロールバー

ウィンドウの端に出るこういう部分を、スクロールバーといいます。ウィンドウの内容が全部表示されていないときに表示されます。▲をクリックすると上の方を見ることができます。▼をクリックすると下の方を見ることができます。

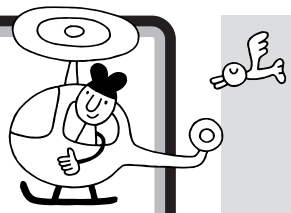
Cドライブを閉じる

使い終わったウィンドウは、次のようにして閉じます。それでは、いま開いているウィンドウを閉じてみましょう。

●ウィンドウを閉じるほかの方法

ウィンドウを閉じる方法はほかにもいくつかあります。
たとえば、ウィンドウ左上の「ファイル」をクリックし、「閉じる」をクリックしても、ウィンドウを閉じることができます。

エクスプローラの使いかた

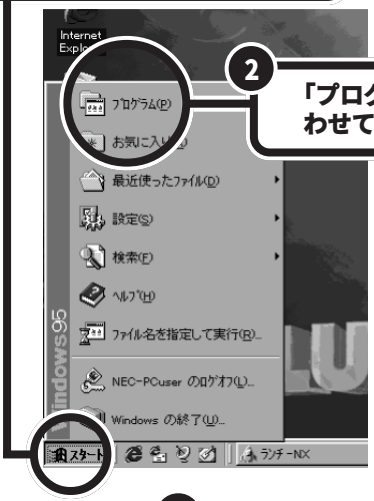


マイコンピュータでは、フォルダを次々と開いて、パソコンのディスクの内容を見ることができましたが、エクスプローラでも、また違った見かたをすることができます。

エクスプローラを起動する

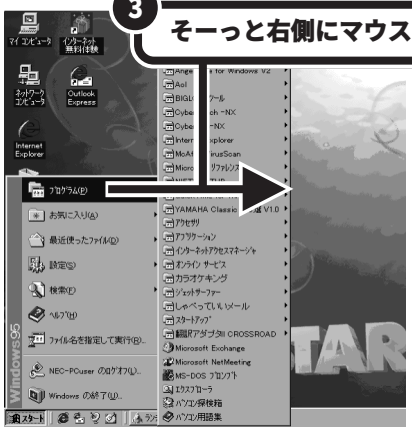
エクスプローラとはどんなものか、起動して見てみましょう。

1 「スタート」をクリックし、

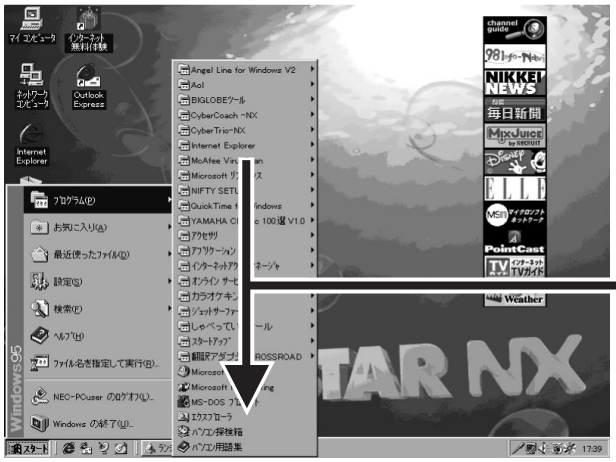


2 「プログラム」に を合わせて、

3 そーっと右側にマウスを動かす



マウスが上下に動くと、「プログラム」以外のものが選ばれてしまうので、マウスは水平に動かしてください。



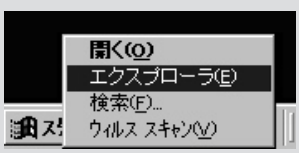
4 表示された一覧の中の「エクスプローラ」まで、マウスを下の方へ動かす

一覧の中に「エクスプローラ」がない場合は、一覧のいちばん下に▼が現れるまでマウスを下に動かすと、メニューが次々とスクロールして、下の方にある「エクスプローラ」が表示されます。

5 「エクスプローラ」をクリックする

エクスプローラが起動します

エクスプローラは、こんな方法でも起動できる
「スタート」を右クリックして、メニューが表示されたら、「エクスプローラ」をクリックします。



エクスプローラの左側を見る

「エクスプローラ」のウィンドウは、左と右に分かれています。まず、左側を見てみましょう。

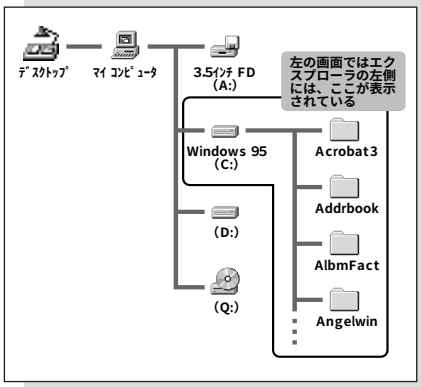
1 「Windows 95(C:)」の左の−をクリックすると、

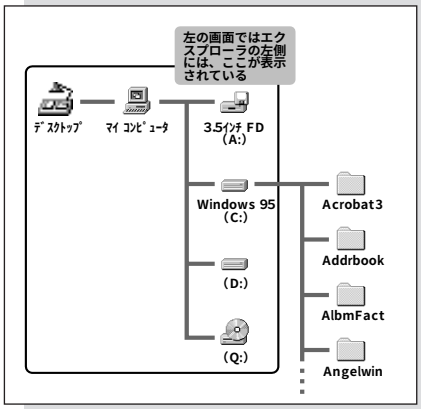
−が＋に変わる

これまで、デスクトップにある「マイコンピュータ」を開いて、さらにその中の「Windows 95(C:)」を開いて、その中のいろいろなフォルダを見ましたが、このエクスプローラの左側の部分には、いちばん上のデスクトップから順にいっぺんに表示されます。

チェック!!
右側の欄のファイルやフォルダは開いたり、他のところへドラッグしたりしないでください。

フォルダのアイコンの左側には、＋や−がついています。
＋のフォルダの中には、まだフォルダがあります。＋をクリックすると、その中のフォルダが表示されて−になります。−は、中のフォルダが画面に表示されていることを示しています。−をクリックすると、中のフォルダは表示されなくなります。

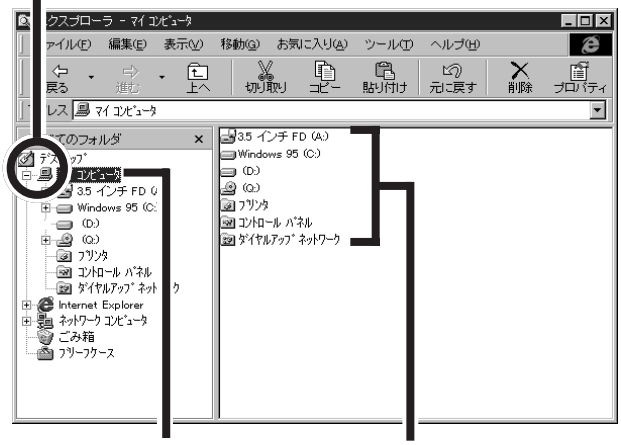




エクスプローラの右側を見る

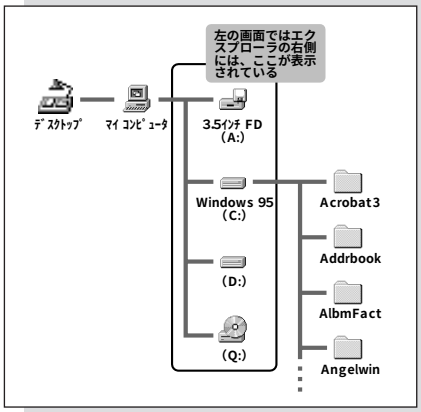
さて、こんどはエクスプローラの右側を見てみましょう。
左側の「マイコンピュータ」のアイコンをクリックしてみましょう。

1 （マイコンピュータ）をクリックする



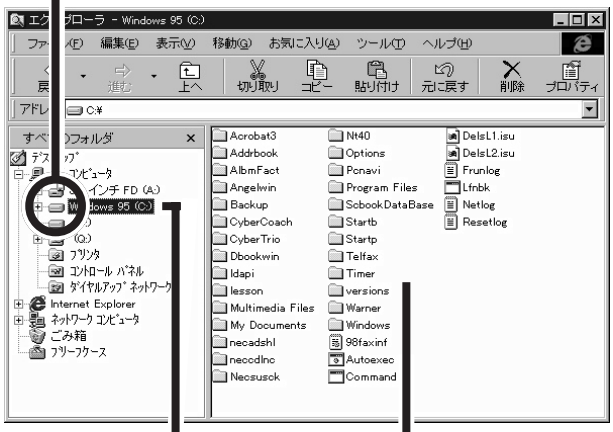
名前の色が変わって、

「マイコンピュータ」の中にあるドライブやフォルダが表示される



右側に表示されているのは、「マイコンピュータ」の中にある、Aドライブや C ドライブや Q ドライブです。

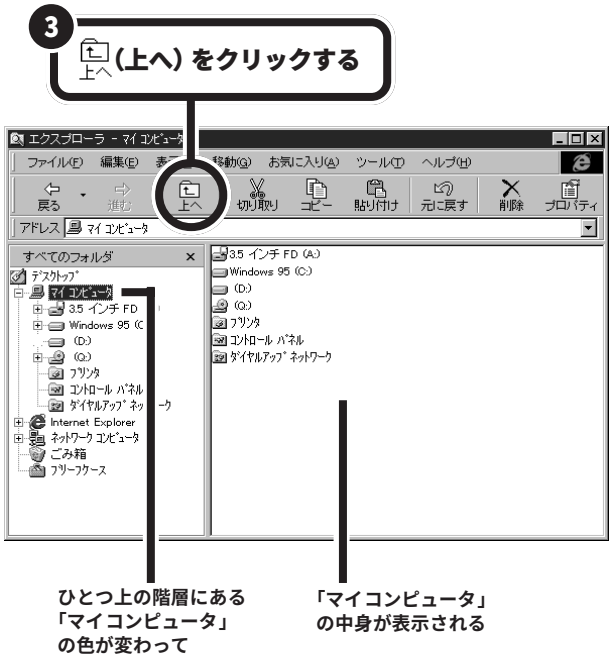
2 （Windows 95 (C:)）をクリックする



名前の色が変わって、

C ドライブの中にあるフォルダやファイルが表示される

このように左側で選んだアイコンの中身が、右側に表示されるしくみになっています。



このように「マイコンピュータ」を使ったときのようにエクスプローラを使うと、パソコンのディスクの中がどうなっているかを見わたすことができます。
エクスプローラの方が、より広い範囲でファイルやフォルダを見ることができます。
見終わったら、他のウィンドウと同じように、右上の ☒ をクリックして閉じてください。

このPARTのまとめ

ここでは、Windows 95 のデスクトップを見てみました。

デスクトップ

デスクトップには、「マイコンピュータ」などのアイコンが並んでいます。いちばん下にあるのがタスクバー。そのいちばん左にある「スタート」からいろいろなソフトを起動することができます。

ドライブとディスク

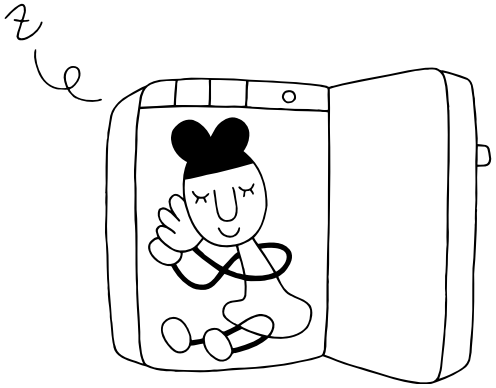
パソコンでは、情報を記録するために、ハードディスクやフロッピーディスクを使います。このディスクに情報を書いたり、読んだりする装置がドライブ。A:、C:などアルファベットのあとに「:」（コロン）をつけて表します。

PART

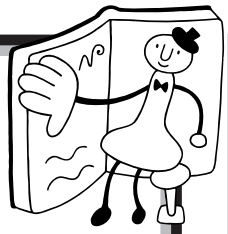
2

ファイルを整理する

こんどは、自分で新しいファイルやフォルダを作ってみましょう。フォルダはファイルを整理するためのものです。まず、新しいフォルダを作って、そこにペイントのファイルを保存します。



どうすれば、整理できる?

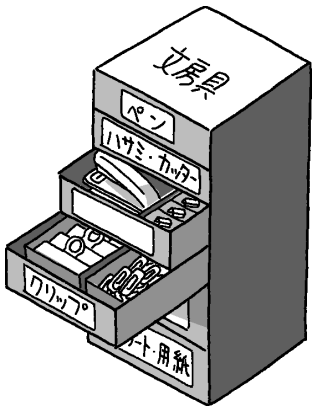


パソコンを使っていると、ワープロの文書やグラフィックソフトで描いた絵など、いろいろなファイルがたまってきます。
なんとか整理しないと、せっかく作ったファイルがどこへ行ったかわからなくなってきます。

フォルダを作って整理すればいい

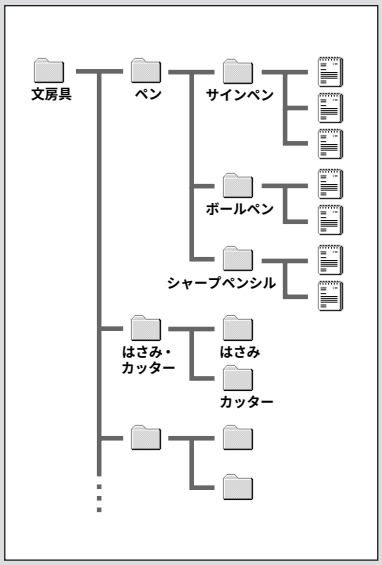
たとえば、ペンやハサミやクリップなどを、全部ひとつの箱に入れておくと探すのがたいへんだし、何がいくつあるのかもわかりません。
これを、引き出しや小さな箱などに分類して入れておくと、「ボールペン」がほしいなと思ったとき、すぐにボールペンをみつけることができます。

なんでも同じところに入れておくと、探すのがたいへん



そこで、名札をつけた引き出しや箱に入れて分類する

パソコンの中でファイルを整理するときは、引き出しや箱のかわりに「フォルダ」を使います。フォルダの中に、またフォルダを作ることもできるので、だんだん細かく分類していけば、ファイルが多くてもだいじょうぶです。



パソコンの中では、引き出しや整理箱のようにフォルダを作ってファイルを整理する

それでは、さっそく、フォルダの作り方から練習してみましょう。

新しいフォルダを作る

新しいフォルダをふたつ作ってみましょう。
フォルダを作るときは、まず、フォルダを作りたいドライブをマイコンピュータから開きます。

ひとつめのフォルダを作る

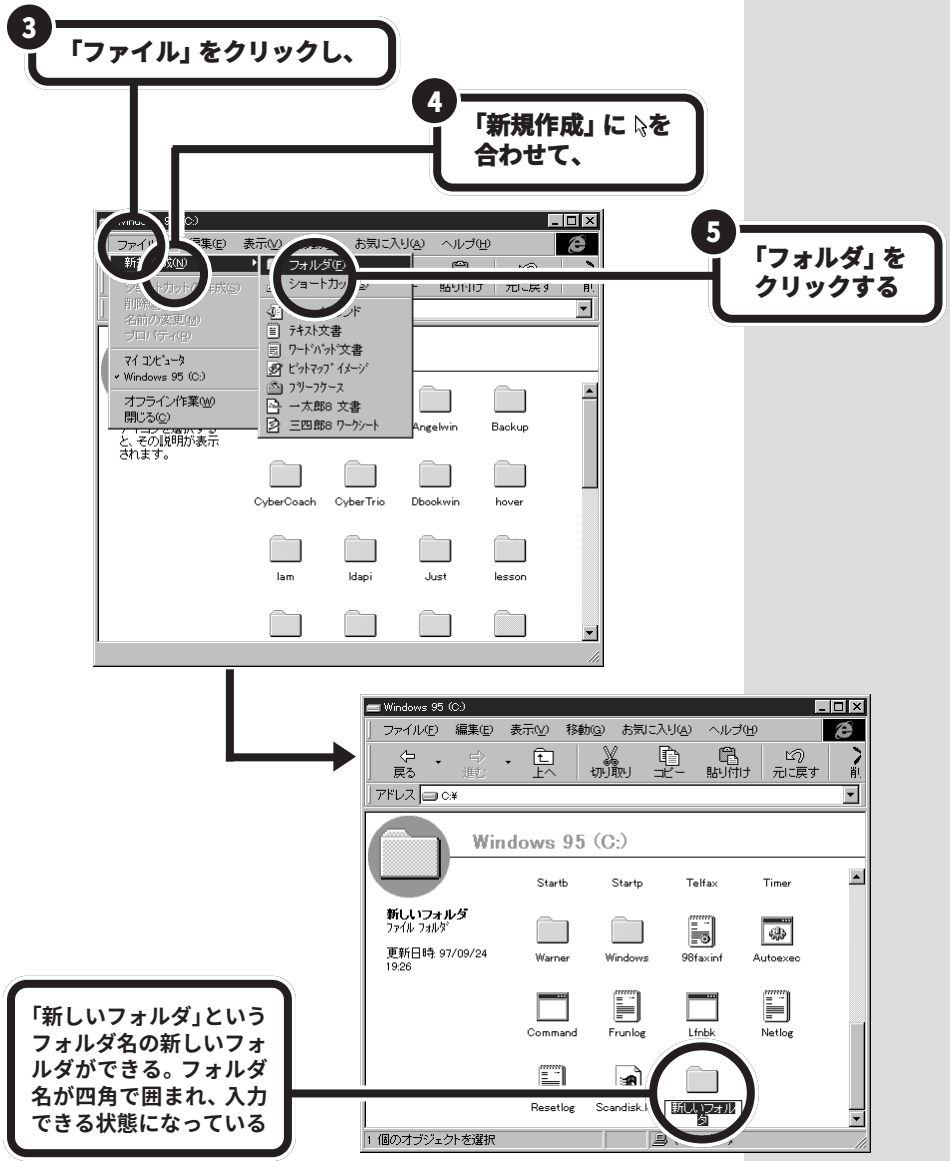
では、Cドライブにフォルダを作ってみましょう。

1 （マイコンピュータ）をダブルクリックする

マイコンピュータの内容が表示される

2 （Windows 95 (C:)）をダブルクリックする

Cドライブの内容が表示されます。この中に新しいフォルダを作ります。

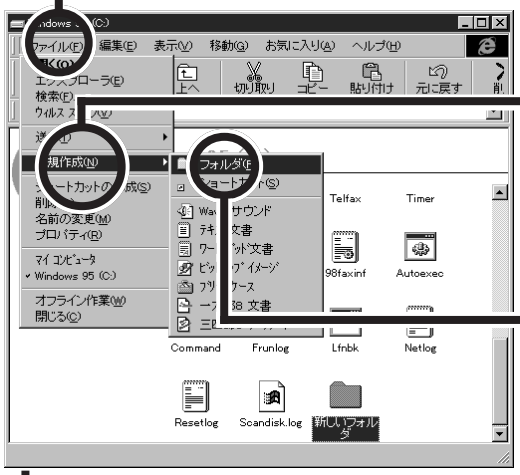


新しいフォルダができました。続けて、ふたつめのフォルダを作ってみましょう。

ここでフォルダ名を入力することもできますが、このあとで、ファイル名やフォルダ名を変える練習をするので、今はこのままにしておいてください。

ふたつめのフォルダを作る

1 「ファイル」をクリックし、

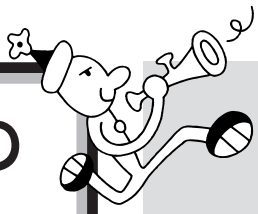


2 「新規作成」に↖を合わせて、

3 「フォルダ」をクリックする

「新しいフォルダ（2）」というフォルダ名の新しいフォルダができる。フォルダ名が四角で囲まれ、入力できる状態になっている

これでふたつのフォルダができました。次にふたつのフォルダの名前を変えてみましょう。



ファイルやフォルダの名前を変える

新しく作ったフォルダの名前を、「テスト 1」と「テスト 2」に変えます。

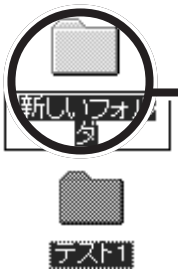
まず、C ドライブの「新しいフォルダ」から変えてみましょう。

1 C ドライブのウィンドウの「新しいフォルダ」のアイコンを右クリックする

2 「名前の変更」をクリックする

フォルダ名が四角で囲まれ、入力できる状態になります。

3 画面右下の日本語入力インジケータが になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を 1 回押して、 にする



4 「テスト 1」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する

5 【Enter】を押して名前を確定する

6 同じように、「新しいフォルダ(2)」も、「テスト 2」に変える

名前を変えたら、次の操作のために、「マイコンピュータ」のウィンドウの右上の ☒ をクリックして閉じておきましょう。

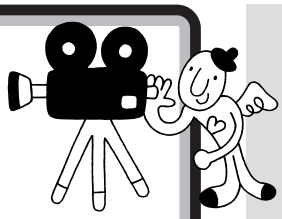
ファイル名、フォルダ名に使えない文字

次の記号を半角でファイル名やフォルダ名に使うことはできません。

\ / : * ? " < > |

ここでは、フォルダ名について説明しましたが、ファイルも同じようにして名前を変えることができます。

「スタート」から始めよう



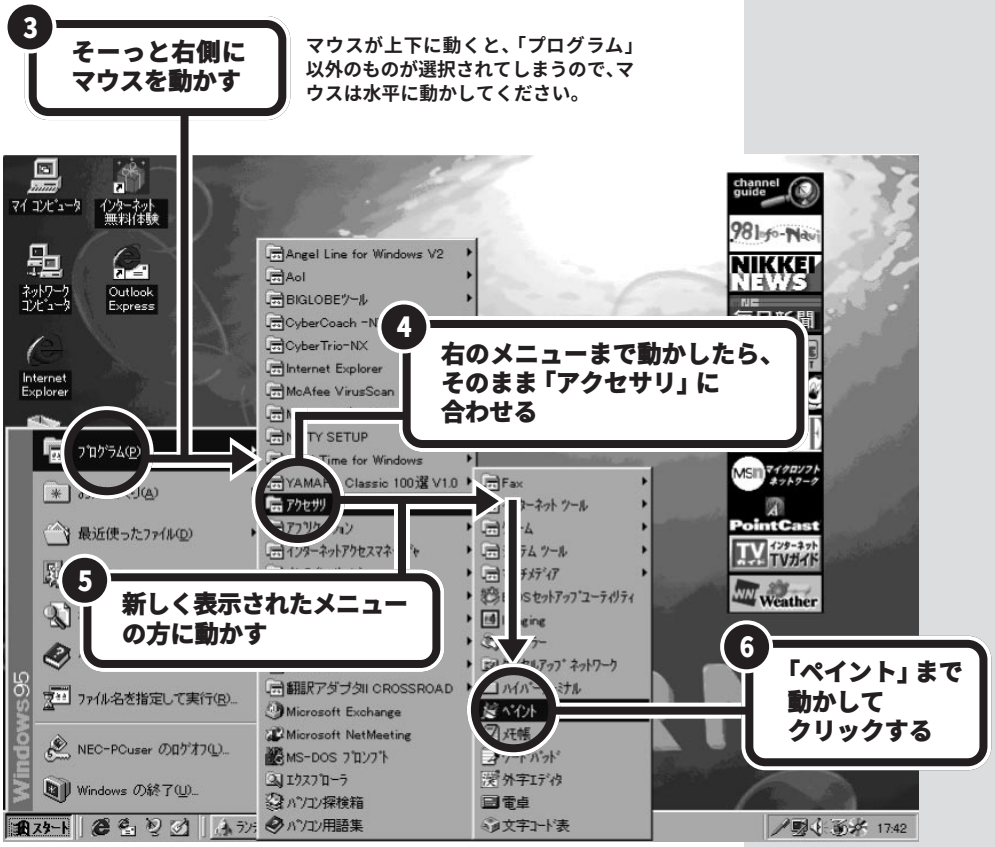
ペイントを起動して、ファイルを作りましょう。
アプリケーションは、「スタート」から起動します。
画面左下の「スタート」をクリックすると、その上にメニューが表示されます。これを「スタートメニュー」といいます。
「プログラム」をポイントして、右側に表示されるメニューから選びます。

ランチ-NX では、「ユーティリティ」をクリックして、「ペイント」をクリックすると「ペイント」が起動しましたが、Windows 95のデスクトップでは、このようにして「ペイント」を起動します。

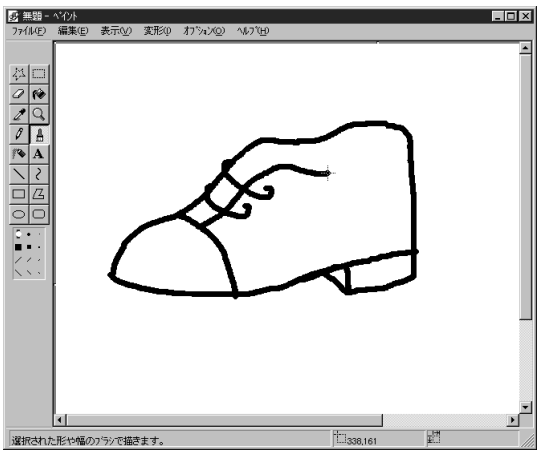
参照
ランチ-NX の使いかた→『STEP2 入門』PART3 の「ランチ-NXは、ソフトの発射台」

ペイントを起動する

1 「スタート」をクリックし、



ペイントが起動し、絵を描ける状態になります。
練習用なので、なんでもかまいません。『STEP2 入門』でやったことを思い出して、なにか描いてみてください。

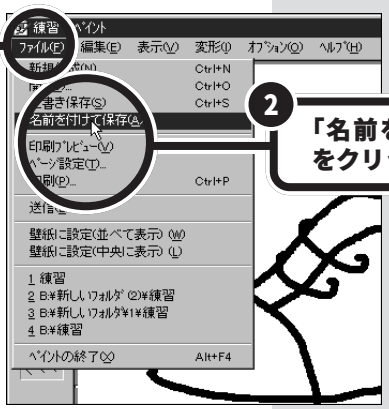


フォルダの中にファイルを保存する

ペイントで描いた絵を、「練習」というファイル名で保存しましょう。ここでは、前に作ったCドライブの「テスト1」に保存します。

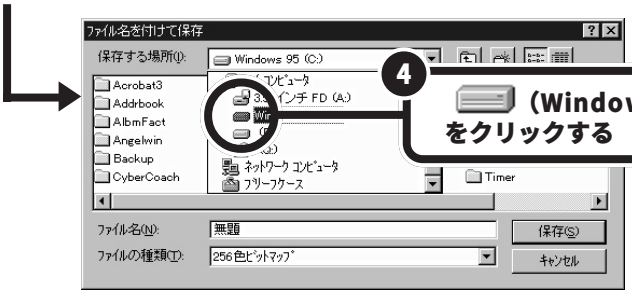
ファイルを保存する

1 「ファイル」をクリックして、



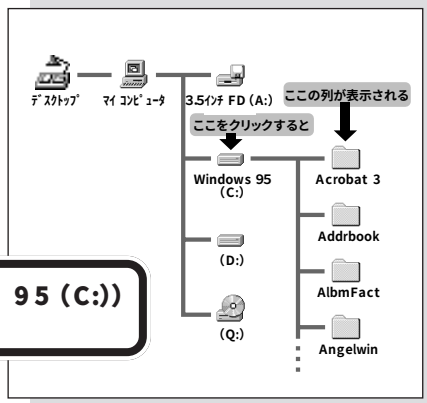
2 「名前を付けて保存」をクリックする

3 ▼をクリックして、



4 (Windows 95 (C:))をクリックする

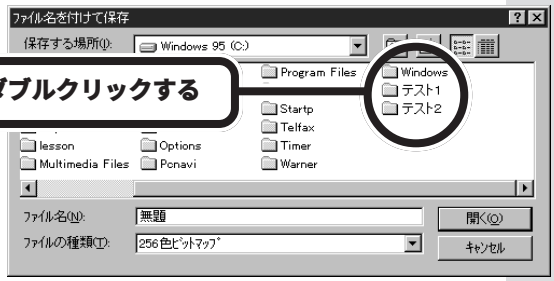
手順3、4は余計な操作のように見えますが、「Windows 95 (C:)」が常にあらかじめ選択されているとは限らないので、このように説明しています。



「保存する場所」の欄に表示されているドライブやフォルダの内容が表示される

5 ここを右にドラッグして「テスト 1」を探す

6 「テスト 1」をダブルクリックする

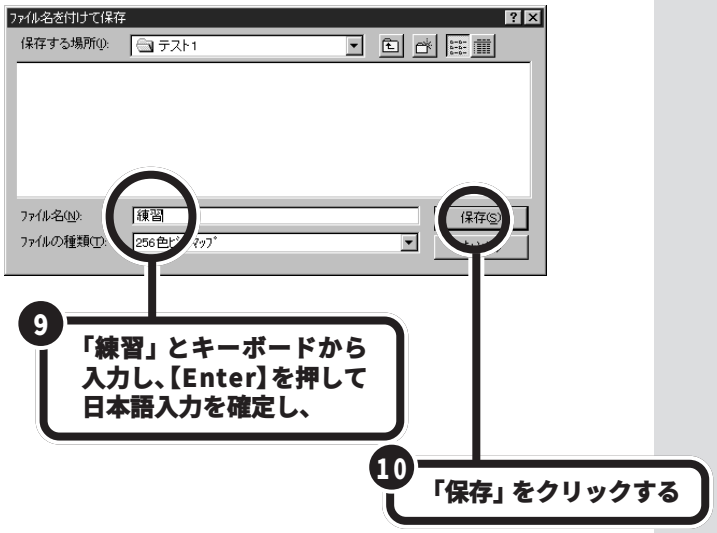


「保存する場所」の欄に「テスト 1」と表示されます。

7 「ファイル名」の右の入力欄をクリックして、

8 画面右下の日本語入力インジケータが ✎ になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押して、 にする

「ファイル名」に何かファイル名が表示されているときは、そのいちばん後ろの空いているところをクリックし、キーボードの【Back Space】を押して、消してください。



これで、いま描いた絵が「練習」というファイル名で、Cドライブの「テスト1」の中に保存されました。

ペイントを終わる

ペイントを終了しましょう。

このPARTのまとめ

ここでは、ファイルやフォルダについて見てみました。

新しいフォルダを作る

ファイルはフォルダに入れて整理します。「ファイル」メニューの「新規作成」で「フォルダ」を選ぶと、新しいフォルダが作られます。

ファイルやフォルダの名前

ファイルやフォルダには、整理しやすい名前をつけておきましょう。名前を変えたいときは、そのファイルやフォルダを右クリックして、「名前の変更」を選びます。

アプリケーションを起動する

アプリケーションを起動するときは、まず「スタート」をクリックします。「スタート」の上に表示されるのが「スタートメニュー」。「プログラム」をポイントすると、他のアプリケーションの一覧が右側に表示されます。右に「▶」がついているものは、そこにを合わせると、次のメニューが表示されます。クリックするとアプリケーションが起動します。

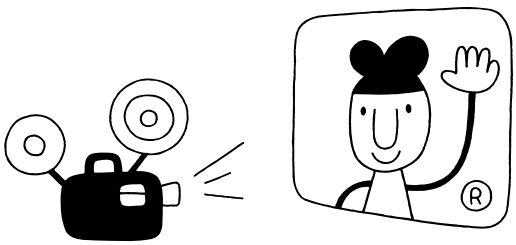
デスクトップにアイコンがあるアプリケーションは、それをダブルクリックすると起動できます。

PART

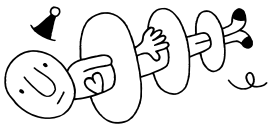
3

ファイルの移動やコピー

ファイルやフォルダの、移動やコピー、削除のしかたを覚えましょう。これらの操作は、おちついて、ゆっくり、慎重にやってください。もし、まちがっても、あせりは禁物です。おちついて対処すれば、元にもどせることもあります。



ファイルを移動する

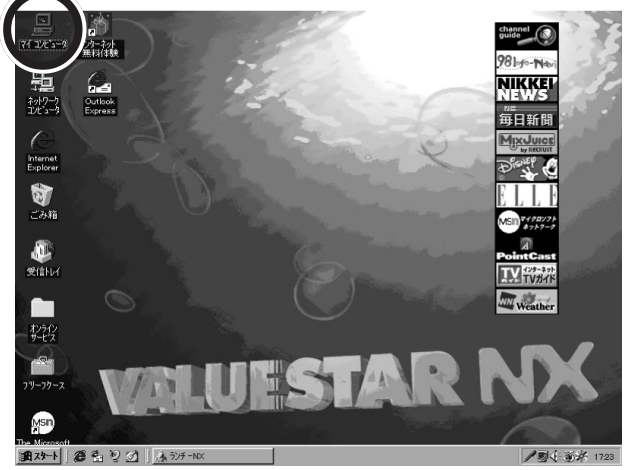


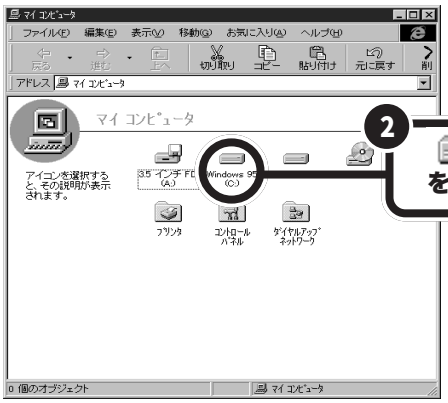
PART2で作ったファイルを別のフォルダに移してみましょう。

まず、Cドライブの「テスト1」の中の「練習」を「テスト2」にドラッグ＆ドロップしてみましょう。「練習」は「テスト2」に移動します。

テスト1のフォルダを開く

1 （マイコンピュータ）をダブルクリックする





2 （Windows 95 (C:)）をダブルクリックする

用語

ドラッグ＆ドロップ

アイコンを移動したい場所までドラッグしていき、そこでマウスのボタンをはなすまでの作業を、ドラッグ＆ドロップと呼びます。

「Windows 95（C:）」の内容が表示されます。

3 「テスト 1」のアイコンが見えるまでドラッグして

4 「テスト 1」のアイコンをダブルクリックする

「テスト 1」の内容が表示されます。「テスト 1」には「練習」が入っています。
ウィンドウを画面の右はしに寄せて、画面の半分くらいになるように小さくしてください。

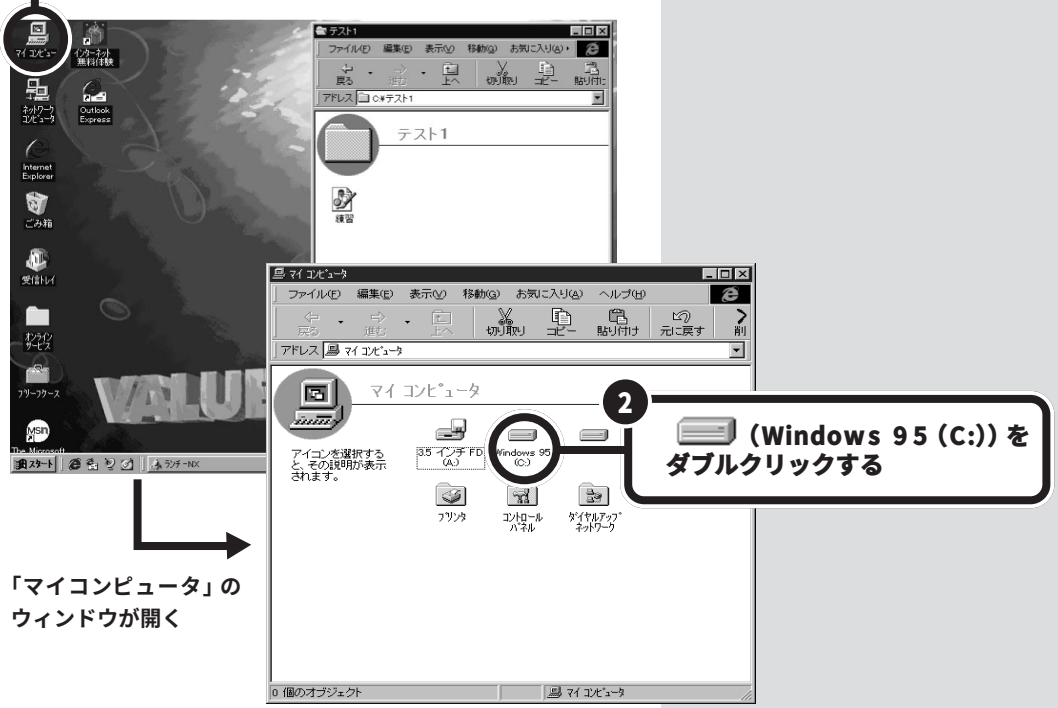
5 タイトルの部分でマウスのボタンを押したまま、右の方へ移動し、ウィンドウを右に寄せる

6 ウィンドウの左はしにをあわせて↔に変わったら右に向かってドラッグしてウィンドウを小さくする

テスト 2 のフォルダを開く

移動先の「テスト 2」を開きます。

1 （マイコンピュータ）をダブルクリックする



「マイコンピュータ」のウィンドウが開く

2 （Windows 95 (C:)）をダブルクリックする

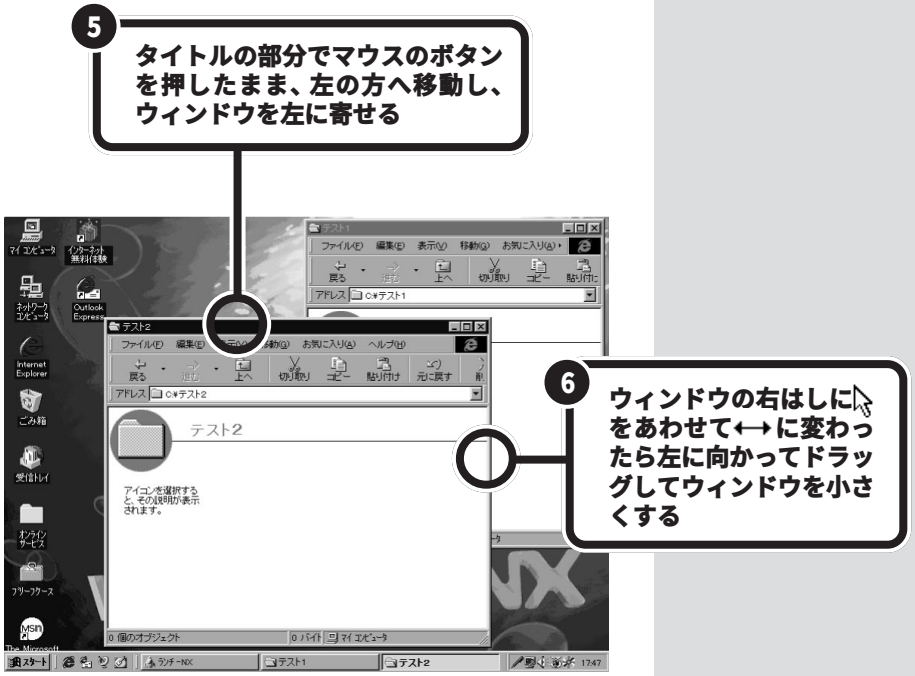
「マイコンピュータ」のウィンドウで、「テスト 1」のウィンドウがかくれてしまうことがありますが、そのまま操作を進めてください。

「Windows 95 (C:)」の内容が表示されます。

3 「テスト 2」のアイコンが見えるまでドラッグして

4 「テスト 2」のアイコンをダブルクリックする

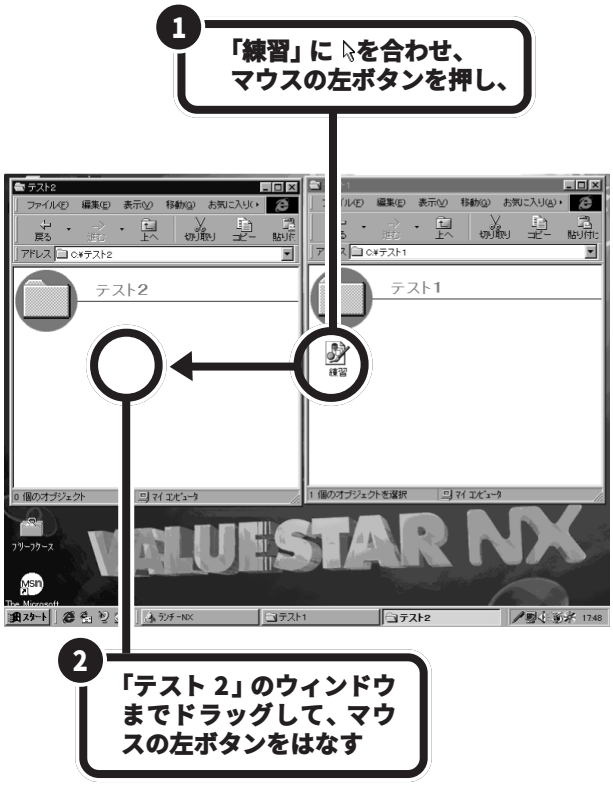
「テスト2」の内容が表示されます。といっても、「テスト2」にはなにも入れていないので中は空っぽです。
「テスト1」のウィンドウと重ならないように、ウィンドウを小さくしてください。



さあ、ウィンドウはふたつきれいにならびましたか?
両方のウィンドウが全部見えていれば準備完了です。

さっそく、ファイルを移動してみましょう。

ファイルを移動する



「テスト 2」に「練習」が移動しましたか?
「テスト 1」にあった「練習」がなくなって、「テスト 2」には「練習」があります。これが「移動」です。

この操作を「ドラッグ＆ドロップ」といいます。

このときアイコンは という形になります。

まちがって「練習」をダブルクリックし、ペイントが起動してしまったときは、 をクリックして、ペイントを閉じてください。

フォルダも、ファイルと同じように移動できます。フォルダを移動すると、その中のファイルやフォルダも、そっくりそのまま移動します。

ポイント

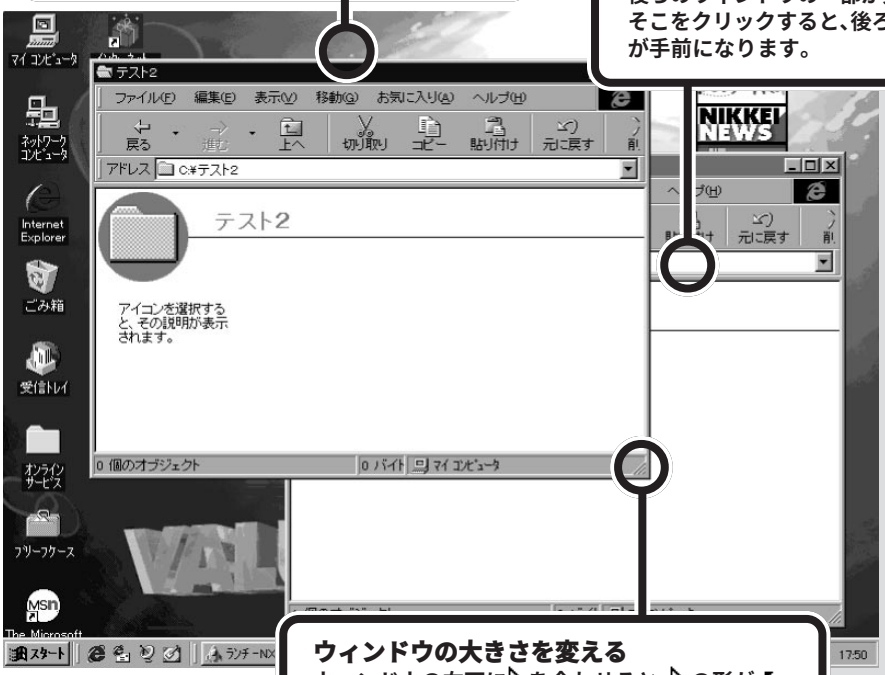
ファイルを、同じドライブのフォルダにドラッグ＆ドロップすると、ファイルは移動する。

●ウィンドウが重なって、見えないとき

ウィンドウをたくさん開くと、重なって、後ろのウィンドウが見えなくなってしまいます。こういうときは、ウィンドウを動かしたり、大きさを変えて、必要な部分が見えるようにします。

ウィンドウを動かす
ウィンドウの上のタイトル部分（青い部分）にを合わせて、ドラッグすると、ウィンドウの位置を変えることができます。

ウィンドウを手前にする
後ろのウィンドウの一部が見えていれば、そこをクリックすると、後ろのウィンドウが手前になります。

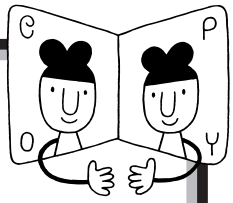


ウィンドウの大きさを変える
ウィンドウの右下にを合わせると、の形がに変わります。
そのまま右下にドラッグするとウィンドウを大きく、左上にドラッグするとウィンドウを小さくすることができます。

ポイント

ウィンドウが重なって隠れているときは･･･
1. ウィンドウを動かす
   タイトル部分をドラッグする。
2. ウィンドウの大きさを変える
   ウィンドウの上下左右の角や辺にを合わせ、矢印の方向にドラッグする。
3. ウィンドウを手前にする
   見えないウィンドウの一部をクリックして手前に出す。

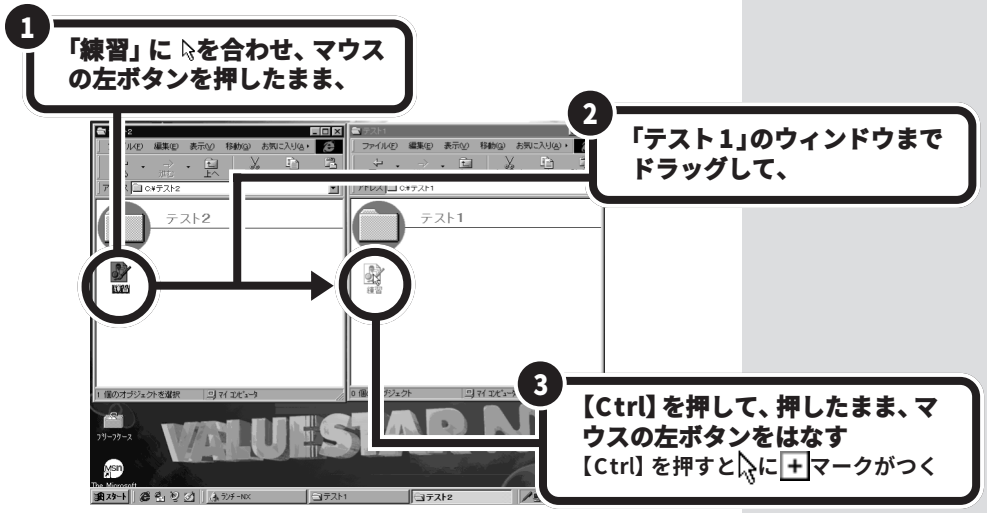
ウィンドウの大きさを変えるには
ウィンドウの右下だけでなく、ウィンドウの四隅の角にを合わせると、や に形が変わります。そこからウィンドウの内側や外側にドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。
また、ウィンドウの辺の部分では、が や に変わります。ここからドラッグすると、ウィンドウの左右や上下の長さだけを変えることができます。



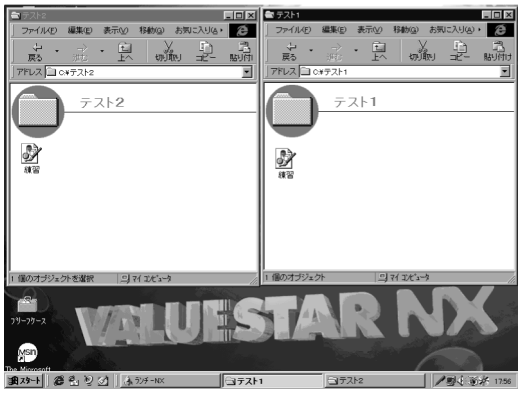
ファイルをコピーする

**ファイルやフォルダの複製を作るときは【Ctrl】を押したまま、アイコンをドラッグ＆ドロップします。
ドラッグ＆ドロップした先のフォルダには元のフォルダにあったものと同じファイルができます。**

こんどは、「テスト2」に移動した「練習」を「テスト1」にコピーしてみましょう。



コピーしても、元のファイル（「テスト2」の中の「練習」）もそのまま残っています。



**コピーと移動の違いはわかりましたか？
次のページでもう一度整理するので、その前に、いま開いているウィンドウの右上の ✕ をクリックして、全部閉じてください。**

フォルダも、ファイルと同じようにコピーできます。フォルダをコピーすると、その中のファイルやフォルダも、そっくりそのままコピーされます。

他のドライブにファイルを移す

Dドライブにも新しいフォルダを作って、ファイルをドラッグ＆ドロップしてみてください。
【Ctrl】を押していないのに、に＋がついて、ファイルは「移動」ではなく「コピー」されます。
違うドライブにドラッグ＆ドロップすると、「移動」ではなく自動的に「コピー」されるのです。

●違うドライブに移動したいとき

それでは、違うドライブに移動したいときは、どうしたらいいのでしょう？　このようなときは、キーボードの【Shift】を使います。
【Shift】を押したままドラッグ＆ドロップすると、行き先がどこであっても移動されます。

フロッピーディスクの場合
フロッピーディスクはAドライブです。マイコンピュータのウィンドウには、「3.5インチFD(A:)」というアイコンで表示されています。
パソコンの中（Cドライブ、Dドライブなど）からフロッピーディスク（Aドライブ）に、逆に、フロッピーディスクからCドライブやDドライブの中に、ファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップすると、コピーされます。

参照
フロッピーディスクを使うには→PART4の「フロッピーディスクを使う」（p.53）

コピーと移動の使い分け

なんだかややこしいようですが、移動、コピーするときは、に注目してください。ドラッグして、目的のフォルダの上に持っていったとき（まだドロップはしないで!）、コピーされるときは、に＋が表示されます。移動されるときは、そのままです。そのままの状態で【Shift】や【Ctrl】を押すと、が変わるので、目的に応じたキーを押したままドロップすれば、移動、コピーを自由に使い分けることができます。

移動のときのマウスポインタ

コピーのときのマウスポインタ

が になったとき
アプリケーションなどのプログラムのファイルをデスクトップに移動しようとすると、が になります。このときは、移動先に「ショートカット」のアイコンができます。「ショートカット」のアイコンには、がつきます。同じようにして何度でも作ることができるので、削除してもかまいません。

参照
ショートカットについて→このPARTの「ショートカットを作ろう」（p.43）
ショートカットを削除するには→このPARTの「いらないファイルはごみ箱へ」（p.40）

ポイント

違うドライブにドラッグ＆ドロップするとコピーされ、同じドライブだと移動される。
【Shift】を押したままドラッグ＆ドロップすると移動され、【Ctrl】だとコピーされる。

ファイルのコピーと移動の応用テクニック

パソコンを使いこなして、ファイルやフォルダが増えてくると、こういうテクニックも役に立ちます。
ここでは、読むだけで、練習はしませんが、おぼえておくと便利です。

●複数のファイルやフォルダを選んで、一度にコピー、移動する

同じウィンドウの中のファイルやフォルダは、一度にまとめてコピー、移動することができます。
コピー元のフォルダを開いたら、次のようにして、複数のファイルやフォルダを選んでください。選んだ状態でドラッグ＆ドロップすると、選択されているファイルやフォルダは一度にコピーや移動できます。

ウィンドウの中でマウスをドラッグすると、四角で囲まれた範囲の中のファイルやフォルダがすべて選択されます。

1 アイコンの外側のなにもないところから

2 ここまでドラッグする

キーボードの【Ctrl】を押したままアイコンをクリックすると、続けて他のファイルやフォルダを選べます。

1 ひとつのアイコンをクリックして、アイコンの色が変わったら、

2 【Ctrl】を押したまま、ふたつめのアイコンをクリックする

【Shift】を押したままアイコンをクリックすると、前に選んだアイコンとの間にあるアイコンがすべて選択されます。

「編集」をクリックし、「すべて選択」をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのファイルやフォルダを選べます。

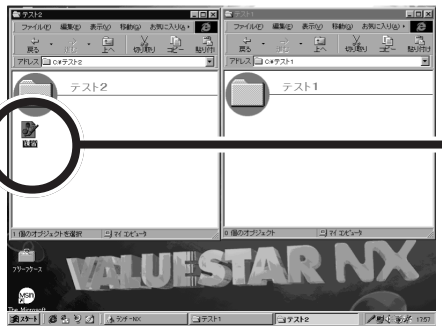
1 「編集」をクリックし、

2 「すべて選択」をクリックする

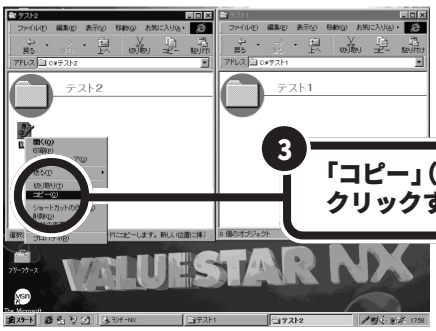
●ドラッグ＆ドロップ以外のコピー、移動のしかた

ドラッグ＆ドロップ以外にも、次のようにして、ファイルやフォルダをコピー、移動することができます。

1 コピー元（移動元）とコピー先（移動先）のフォルダを開きウィンドウを表示する



2 コピー（移動）したいファイルやフォルダのアイコンを右クリックする



3 「コピー」（移動するときは「切り取り」）をクリックする

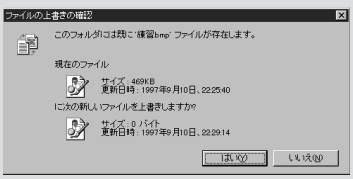
4 コピー先（移動先）で、右クリックし、

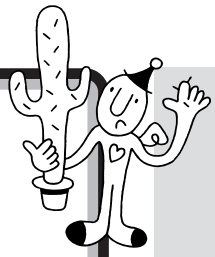
5 「貼り付け」をクリックする

ファイルがコピー（移動）される

チェック!!

同じフォルダの中に同じ名前のフォルダやファイルを入れておくことはできません。移動先やコピー先に同じ名前のファイルやフォルダがあるときは、「ファイルの上書きの確認」というウィンドウが表示されます。「上書き」というのは、そこに元からあったものを消して、新しく移動したりコピーするファイルやフォルダと入れ換えることです。元からそこにあったファイルやフォルダを消したくないときは「いいえ」をクリックしてください。





いらないファイルはごみ箱へ

いらないファイルやフォルダは、「ごみ箱」に捨てて、削除します。
「テスト1」にコピーした「練習」を削除してみましょう。

ファイルやフォルダを削除する

まず、「テスト1」のフォルダを開いてから、次のように操作します。

「練習」が「ごみ箱」の中に移動します。

ポイント

いらないファイルやフォルダは、「ごみ箱」に入れて削除する。

チェック!!

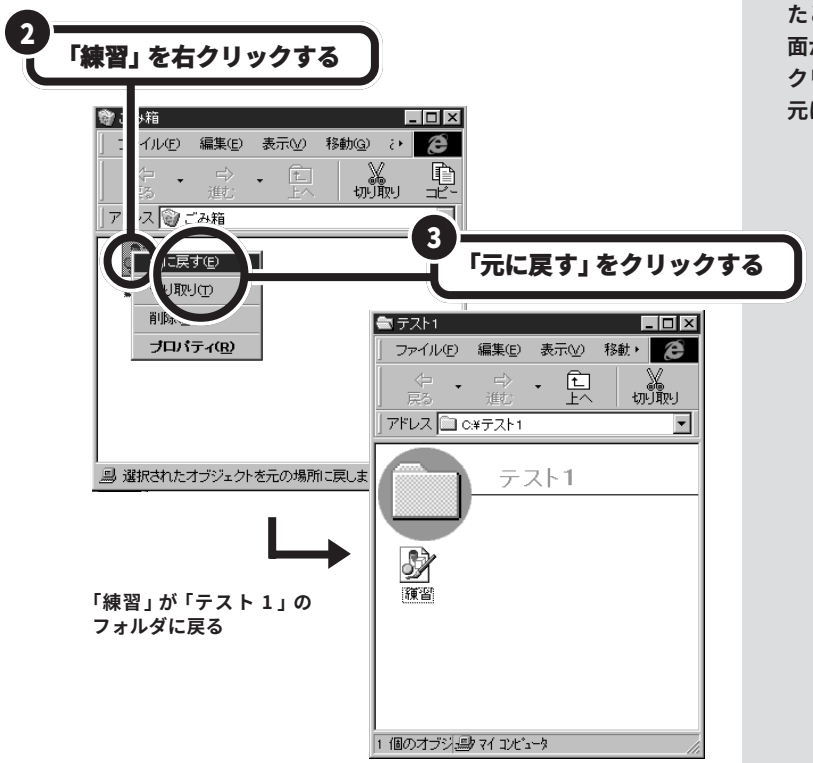
フロッピーディスクの中のファイルやフォルダは、「ごみ箱」にドラッグ＆ドロップすると、削除を確認するメッセージが表示されます。このとき、「はい」をクリックすると、完全に削除されてしまいます。ほんとうに削除してもいいか考えて、削除していいときは、「はい」をクリックしてください。

空っぽの「ごみ箱」

ごみが入ってる「ごみ箱」

ごみ箱の中のファイルやフォルダを元に戻す

まちがって大切なファイルなどを削除しないように、「ごみ箱」に入れただけでは、ファイルはまだ完全には削除されないようになっています。「ごみ箱」の中のファイルやフォルダは、次のように、元の場所に戻すことができます。



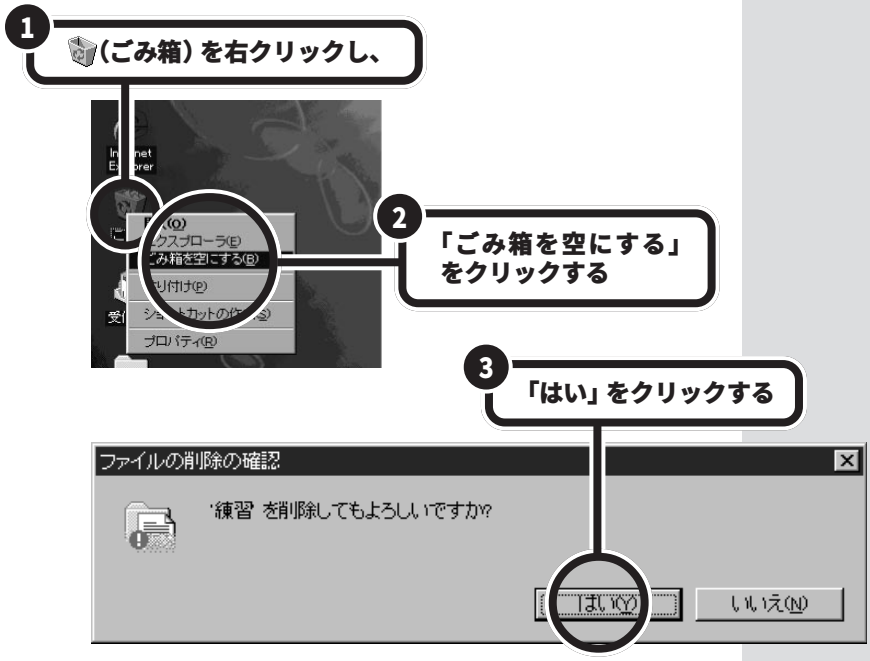
チェック!!
フロッピーディスクの中のファイルやフォルダは、一度「ごみ箱」に入れると完全に削除されてしまうので、元に戻すことはできません。

チェック!!
「ごみ箱」の中のファイルは、一定の量になると古いものから削除されます。削除されたものは元に戻すことはできません。

チェック!!
「ごみ箱」のプロパティのオプションで「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」が☑（有効）になっている場合は、ファイルやフォルダをごみ箱に入れたときに「ファイルの削除の確認」画面が表示されます。ここで「はい」をクリックしてファイルを削除すると、元に戻すことはできなくなります。

ごみ箱の中のファイルやフォルダを完全に削除する

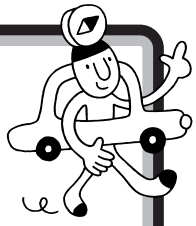
「ごみ箱」に入れたファイルは、そのままでは削除されないので、どんどんファイルを作ったり、アプリケーションをインストールすると、ハードディスクがいっぱいになってしまいます。いっぱいになったハードディスクには、ファイルを保存したりコピーすることができません。
ここでは、「ごみ箱」の中のものを完全に削除する練習をします。この操作を行うと、もう元には戻せないので注意してください。
もう一度、「テスト 1」フォルダから「ごみ箱」に「練習」をドラッグ＆ドロップしてから、次のように操作してください。



ポイント

ハードディスクがいっぱいにならないように、「ごみ箱」を空にする。

ショートカットを作ろう



よく使うアプリケーションやファイルは、デスクトップにショートカットを作っておくと便利です。
ここでは、「ペイント」のショートカットを作ります。ペイントはCドライブの「Windows」フォルダの中に「Pbrush」というファイル名で保存されています。

1 (マイコンピュータ) をダブルクリックする

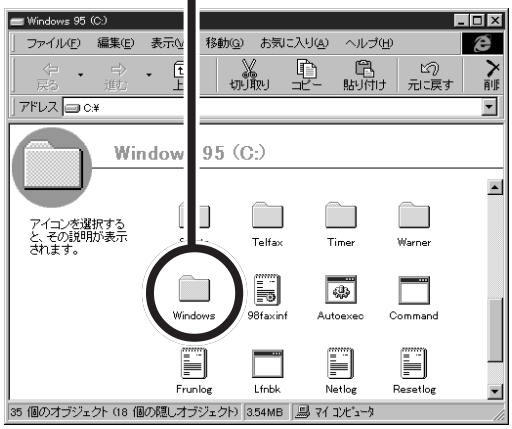
2 (Windows 95 (C:)) をダブルクリックする

用語

ショートカット

ショートカットは、よく使うアプリケーションなどをすぐ使えるように、デスクトップに出しておくためのものです。
ショートカットのアイコンをダブルクリックすると、元のアイコンをダブルクリックしたのと同じように、アプリケーションが起動します。
もし、まちがってショートカットを削除しても、元のアプリケーションには何の影響もありませんし、ショートカットは、何度でも作ることができます。

3 **「Windows」をダブルクリックする**



4 **「Pbrush」を、**

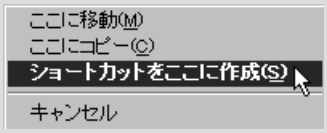
5 **デスクトップのなにもないところにドラッグ＆ドロップする**

ドラッグ＆ドロップするとき、マウスポインタに ↗ がついて、 になる

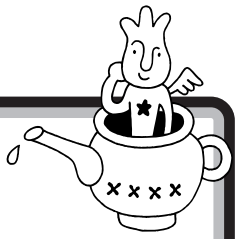
デスクトップにペイントのショートカット(Pbrushへのショートカット)ができます。このショートカットをダブルクリックすると「ペイント」が起動します。
ショートカットを作ったら、次の操作のために開いたウィンドウの右上の ☒ をクリックして閉じておきましょう。

「Windows」や「Pbrush」はウィンドウの下の方にかくれていることがあります。スクロールして探してください。

ファイルやフォルダなどのショートカットの作りかた
ファイルやフォルダを、マウスの右ボタンを押して、押したままドラッグ＆ドロップして、メニューが表示されたら、「ショートカットをここに作成」をクリックします。



ショートカットのアイコンには ↗ がついているので、他のアイコンと見分けがつきます。
デスクトップのアイコンをよく見ると、ショートカットがいくつかあるのがわかります。



ファイルを探す

ファイルをまちがって他の場所に移動したりして、ファイルがどこにいったか、わからなくなることがあります。こんなときは、なくなったファイルを検索して探しましょう。
ここでは、例として「練習」を検索してみましょう。

ファイルを検索する

1 「スタート」をクリックし、

2 「検索」をポイントして、

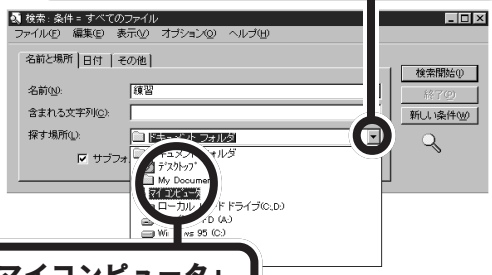
3 「ファイルやフォルダ」をクリックする

4 画面右下の日本語入力インジケータが 🖉 になっているときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押して 📝 にする

5 「名前」の入力欄に「練習」とキーボードから入力し、【Enter】を押して日本語入力を確定する

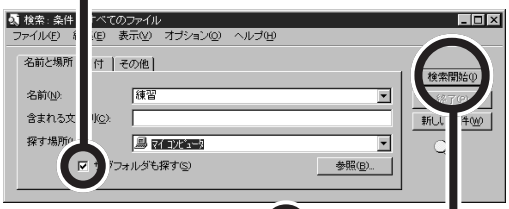
入力する文字は、探しているファイルの名前を全部入力しなくても、一部分を入力すれば OK です。
たとえば、「練」だけでもかまいません。
入力した文字を名前に含んでいるファイルやフォルダが全部検索されます。

6 すべてのドライブを検索するので、「探す場所」の右の ▼ をクリックして、

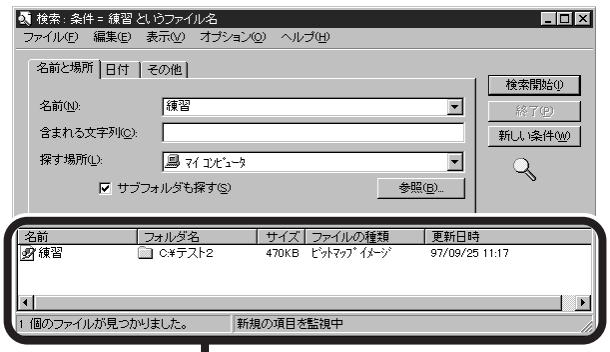


7 「マイコンピュータ」をクリックする

8 「サブフォルダも探す」が ☐ になっているときは、クリックして ☑ にする



9 「検索開始」をクリックする



検索結果が一覧表示される

ポイント

ファイルがどこにあるかわからなくなったら、検索してみる。検索する場所や名前を変えて検索できる。

「探す場所」を「マイコンピュータ」にすると、すべてのドライブが検索の対象になります。

用語

サブフォルダ

フォルダの中にあるフォルダをサブフォルダといいます。

☐ は、その項目が無効になっていることを示します。
☑ は、有効になっていることを示します。

検索結果の見かた

名前
検索されたファイル名、フォルダ名が表示されます。ここをダブルクリックすると、検索されたファイルが開きます。

フォルダ名
検索されたファイルやフォルダが入っているフォルダの名前が表示されます。

サイズ
検索されたファイルの大きさが表示されます。

ファイルの種類
検索されたファイルの種類が表示されます。フォルダのときは、「ファイル フォルダ」と表示されます。

更新日時
検索されたファイルを最後に更新した日時が表示されます。

1 「練習」をダブルクリックする

2 ☒ をクリックする

「ペイント」が起動して、「テスト 2」に入っていた「練習」が開きます。
☒ をクリックして、「ペイント」や「検索」を終わらせてください。

このPARTのまとめ

ここではファイルのコピーや移動のしかたを練習しました。

ファイルのコピーと移動

ファイルのアイコンを、同じドライブのフォルダにドラッグ＆ドロップすると、ファイルは移動します。
【Ctrl】を押したまま、ドラッグ＆ドロップすると、ファイルはコピーされます。移動と違って、ファイルは 2 つになります。

いらないファイルはごみ箱に捨てる

いらなくなったファイルやフォルダはごみ箱に捨てます。まちがって捨てたときは、元に戻せます。ただし、設定されている量を超えると、古いものから順に完全に削除されて元に戻せなくなります。

ファイルを探す

ファイルがどこにあるかわからなくなったときは、「スタート」メニューの「検索」を使って探すことができます。

ショートカット

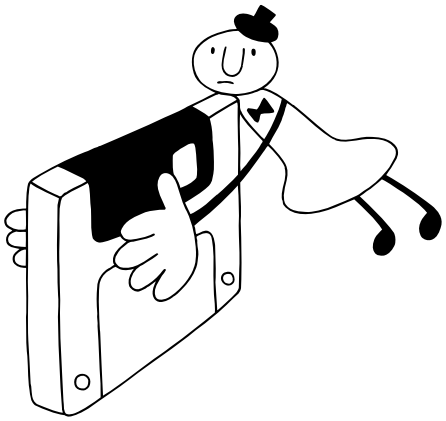
よく使うアプリケーションやファイルは、ショートカットのアイコンをデスクトップ上に置いておくと便利です。

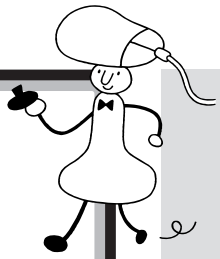
PART

4

フロッピーディスクを使う

ここでは、ファイルをフロッピーディスクに入れる方法を説明します。また、友人などからフロッピーディスクでファイルをもらったときの使いかたも説明します。





フロッピーディスクを買ってくる

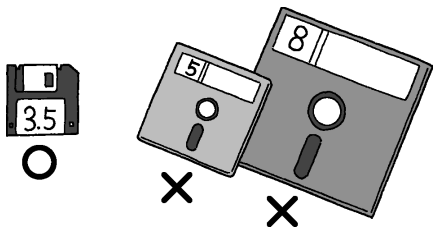
フロッピーディスクにも、いろいろな種類があります。まず、買うときの目安について説明しましょう。

フロッピーディスクの種類

フロッピーディスクを買うときには、「大きさ」「容量」「フォーマット」という3つのポイントを確認します。

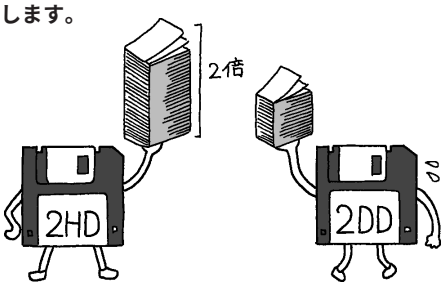
●大きさ

フロッピーディスクは、その中に入っている円盤（磁気を帯びた円盤）の大きさによって、3.5インチ、5インチ（5.25インチ）、8インチの3つがあります。ただし、今は3.5インチが主流で、5インチ、8インチのフロッピーディスクはあまり使われていません。
このパソコンで使えるのは、3.5インチのフロッピーディスクだけです。



●容量

3.5インチのフロッピーディスクには、「2HD」と「2DD」という2種類のタイプがあります。この2つには、その中に入れることのできる情報量（容量）に差があります。「2HD」タイプのフロッピーディスクには、「2DD」タイプのフロッピーディスクの約2倍の情報を入れることができます。このパソコンでは両方のタイプのフロッピーディスクを使うことができます。それほど価格も変わらないので、「2HD」タイプをお使いになることをおすすめします。



「2HD」は「両面高密度倍トラック」の英訳の頭文字をとったもの、「2DD」は「両面倍密度倍トラック」の英訳の頭文字をとったものです。以前は「2D」などといったさらに容量が小さいものもありましたが、現在はほとんど使われていません。また、このパソコンでは使えません。

チェック!!

2DDには、容量が720KB（キロバイト）のものと640KBのものがあります。640KBのものはこのパソコンでは使えません。
2HDには容量が1.44MBのものと1.25MBのものがあります。このパソコンでは、1.25MBのものを読み書きすることはできますが、1.25MBでフォーマットすることはできません。

●フォーマット

「フォーマット」とは、「フロッピーディスクを使えるようにする」作業のことです。
従来は市販のフロッピーディスク（未フォーマット）を買ってくると、最初に必ずこのフォーマット作業が必要でしたが、最近では「フォーマット済みのフロッピーディスク」が売られているので、こっちの方が便利です。
ただし、この「フォーマット済みのフロッピーディスク」にもいくつかの種類があります。未フォーマットのフロッピーディスクを含めて整理すると、次のように分類されます。

・未フォーマットのフロッピーディスク
・Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスク
・PC-98 用フォーマット済みのフロッピーディスク
・Macintosh 用フォーマット済みのフロッピーディスク

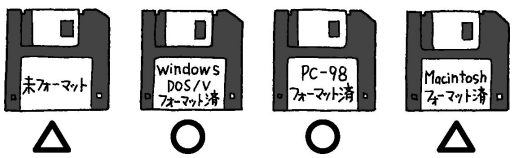
用語

フォーマット

フロッピーディスクやハードディスクなどをパソコンで使える状態にする作業。フォーマットされていないディスクには、なにも保存できません。

結局どんなフロッピーディスクを買えばいいの？

「3.5インチ2HDタイプ　Windowsフォーマット済みフロッピーディスク」か「3.5 インチ 2HD タイプ　DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」であれば、フロッピーディスクドライブに入れて、すぐに使うことができます。



△ フォーマットすると使えます
○ すぐに使えます
○ すぐに使えます
△ フォーマットすると使えます

Windows フォーマットと DOS/V フォーマットは、呼び名が異なるだけで、実際には同じフォーマットです。
Windows または DOS/V 用フォーマット済みのフロッピーディスクと PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスクは容量（ディスクの中に保存できる情報量）が異なります。前者の容量は 1.44MB（メガバイト）、後者の容量は 1.25MB です。
また、一般に DOS/V マシンと呼ばれるパソコンには、PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスクを扱えないものがあります。

「未フォーマットのフロッピーディスク」や「Macintosh 用フォーマット済みのフロッピーディスク」でも、あらためて「フォーマット」をすれば使えます。しかし、その分だけ手間と時間（2 分ぐらい）がかかります。

ポイント

フロッピーディスクは、「3.5 インチ 2HD タイプ Windowsフォーマット済みフロッピーディスク」、または、「3.5 インチ 2HD タイプ　DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」がおすすめ。

磁石に注意!フロッピーディスク

フロッピーディスクを扱う上で特に注意していただきたいのは、磁石です。フロッピーディスクは、磁力で情報を記録しているので、磁石が近づくと、簡単に内容が消えてしまいます。
テレビやスピーカにも磁石が使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないように気をつけてください。また、ホワイトボードの磁石なども要注意です。
デスクトップタイプのスピーカはフロッピーディスクドライブのすぐ近くにありますが、フロッピーディスクに影響しないように作られていますので心配はいりません。

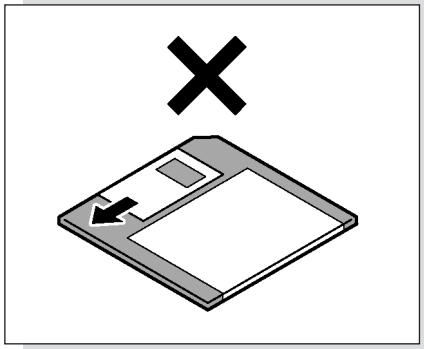
●フロッピーディスクを扱うときの注意

フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。次の点に注意してください。

- シャッターを開けない。
- 鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしない。
- ラベルは正しい位置に貼る。
- 飲食、喫煙しながら使わない。
- 溶剤類、飲み物などを近づけない。
- 磁石を近づけない。
- ゴミやホコリが多いところでは使わない。
- 汚れたフロッピーディスクは使わない。
- クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしない。
- 使わないときは収納箱に入れて保管する。
- 上にものを乗せない。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かない。

フロッピーディスクの取り扱いに関する一般的な注意については、フロッピーディスクのケースに入っている説明書をご覧ください。

参照
フロッピーディスクの扱いかた→『リファレンス』PART5 の「フロッピーディスク」



フロッピーディスクを使う

用意したフロッピーディスクを本体にセットします。

チェック!!
フロッピーディスクは、パソコンの電源を入れて Windows 95 が起動したあとでセットしてください。

フロッピーディスクを用意する

ここから実際にフロッピーディスクを使った作業を体験してもらいます。新しい「3.5 インチ 2HD タイプのフロッピーディスク」を 1 枚用意してください。
用意するフロッピーディスクは、「未フォーマットのフロッピーディスク」、または、「Windows フォーマット済みフロッピーディスク」、「DOS/V フォーマット済みフロッピーディスク」、「PC-98 用フォーマット済みフロッピーディスク」のどれでもかまいません。

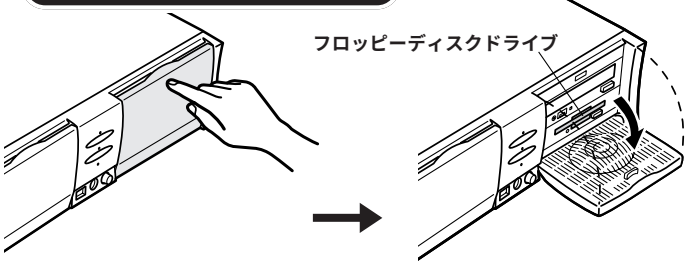
チェック!!
このパソコンに添付されているフロッピーディスクは使わないでください。

フロッピーディスクを入れる

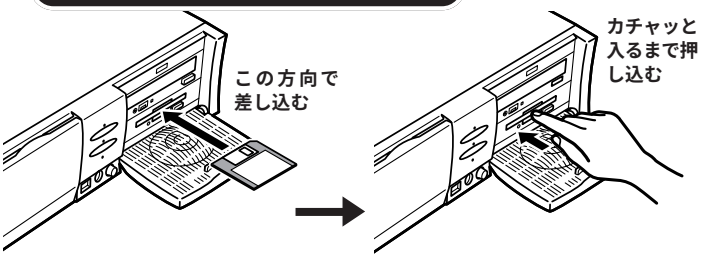
用意したフロッピーディスクを、次の図のように本体のフロッピーディスクドライブに差し込みます。

●デスクトップタイプの場合

1 本体前面の右側のパネルの上の方を軽く押す

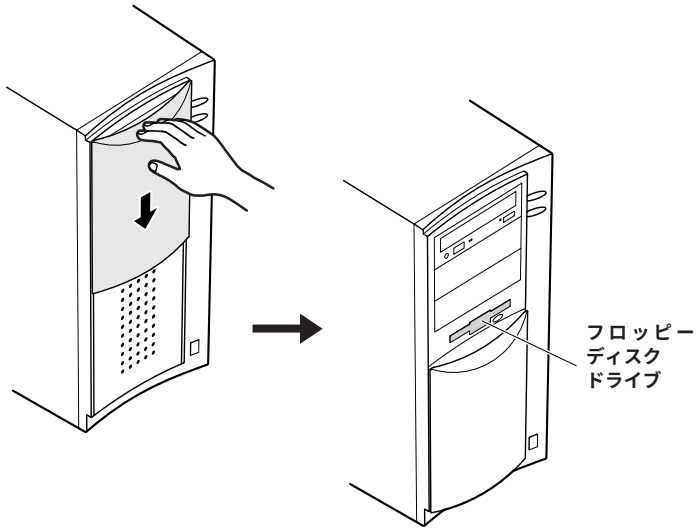


2 「フロッピーディスク」を入れる

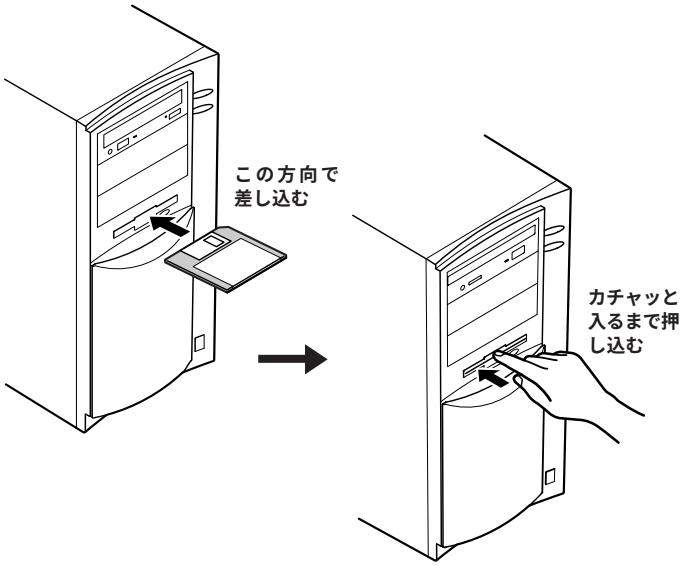


●ミニタワータイプの場合

1 本体前面の上部のパネルを下の方にスライドさせる



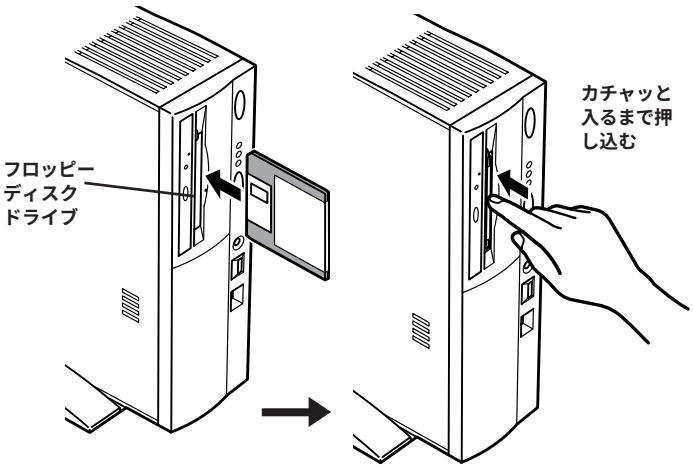
2 「フロッピーディスク」を入れる



パネルをスライドさせるときに、パネルのふちで指を切らないように注意してください。

●コンパクトタイプの場合

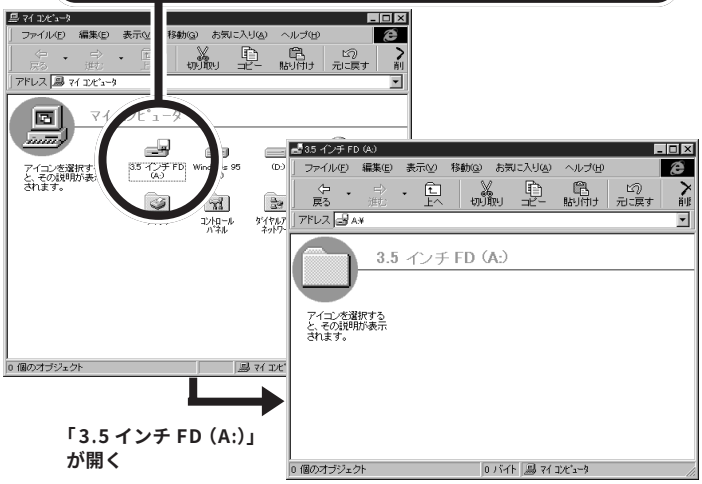
1 「フロッピーディスク」を入れる



フロッピーディスクを開く

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしたら、次の操作を行います。

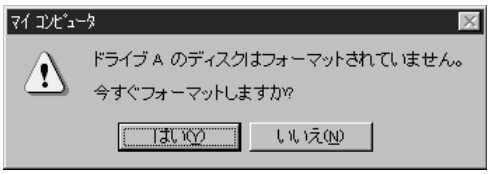
1. (マイコンピュータ) をダブルクリックする
2. (3.5 インチ FD (A:)) をダブルクリックする



「3.5 インチ FD (A:)」が開く

「今すぐフォーマットしますか？」と聞かれたとき

「今すぐフォーマットしますか？」と表示されたら、このフロッピーディスクは、フォーマットされていないか、このパソコンでは使えないフォーマットです。



ここでじっくり考えてみる

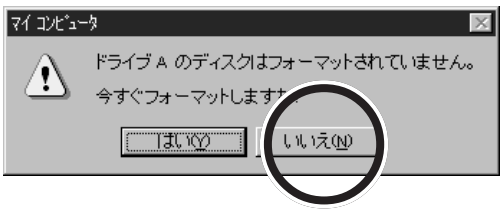
画面は、「今すぐフォーマットしますか？」と言っています。「はい」をクリックするとフォーマットが始まります。買ったばかりのフロッピーディスクであれば心配ありませんが、知り合いに借りたフロッピーディスクなどで、フォーマットが違うフロッピーディスクであれば、そこに入っているデータはすべて消えてしまいます。そういうときは、「いいえ」をクリックして、フロッピーディスクを取り出し、「私のパソコンでは、読めませんでした」と言って返した方がいいでしょう。

チェック!!

「未フォーマットのフロッピーディスク」の場合、画面が変わるまで、かなり待たされます。あわてて、ボタンを何回も押したり、電源を切ったりしないようにしてください。

フォーマットしないとき

1 「いいえ」をクリックする

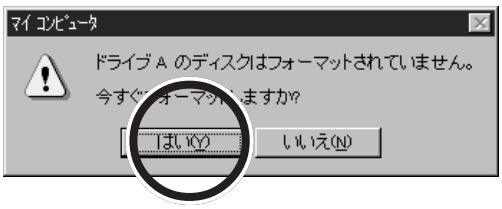


2 p.62、63、64の説明にしたがって、フロッピーディスクを取り出す

フォーマットするとき

中に大切なファイルが入っていても、フォーマットすると全部消えてしまいます。注意してください。

1 「はい」をクリックする



フロッピーディスクのウィンドウが消えます。

2 「通常のフォーマット」をクリックして、「スタート」をクリックする。

フォーマットが始まります。

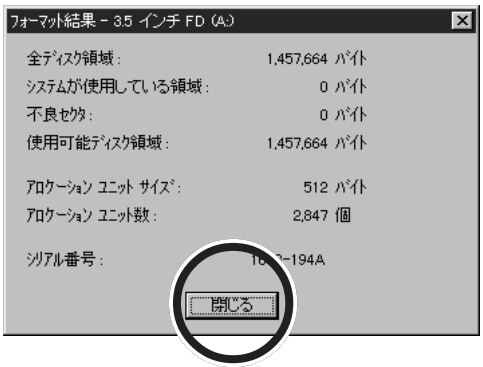
チェック!!

フロッピーディスクは次の容量でフォーマットできます。
2HDのフロッピーディスク 1.44MB
2DDのフロッピーディスク 720KB
2HDのフロッピーディスクを、1.25MBや720KBにフォーマットすることはできません。

しばらくすると、ウィンドウ下部の棒グラフが右に伸びていきます。

右端まで伸びたらフォーマットは終わりです。
「フォーマット結果」が表示されます。

3 「閉じる」をクリックする



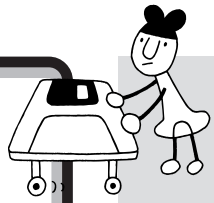
これで、フロッピーディスクは、このパソコンで使えるようになりました。

4 ✕ をクリックする

ここで表示されるウィンドウは、フロッピーディスクの内容を表示するウィンドウです。新しいフロッピーディスクは空っぽなので、ウィンドウの中はまっ白です。

ポイント

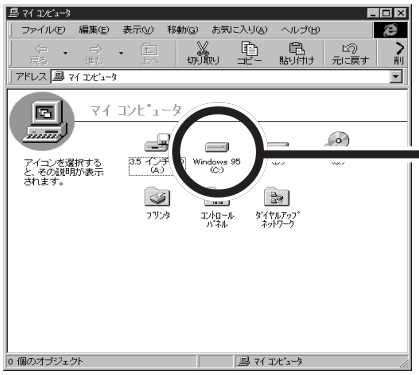
フォーマットされていないフロッピーディスクをセットしたときと、フォーマットが違うフロッピーディスクをセットしたときは、「今すぐフォーマットしますか？」と表示される。フォーマットすると使えるようになる。



フロッピーディスクにファイルをコピーする

フロッピーディスクに「練習」をコピーします。フロッピーディスクはハードディスクと違うドライブなので、ドラッグ＆ドロップするとコピーされます。あなたが作ったファイルの予備（バックアップ）をフロッピーディスクに作りたいときも、このように操作してください。

1 （マイコンピュータ）をダブルクリックする

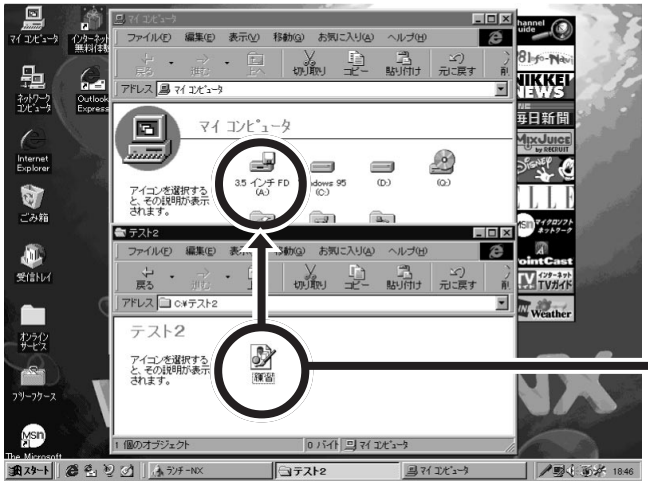


2 （Windows 95 (C:)）をダブルクリックする

3 「テスト 2」のアイコンをダブルクリックする

4 （マイコンピュータ）をダブルクリックする

5 ウィンドウの位置を調整する



「練習」はフロッピーディスクにコピーされます。
フロッピーディスクのアイコン (3.5 インチFD (A:)) をダブルクリックして、中を確認してください。

次のウィンドウが表示されたとき

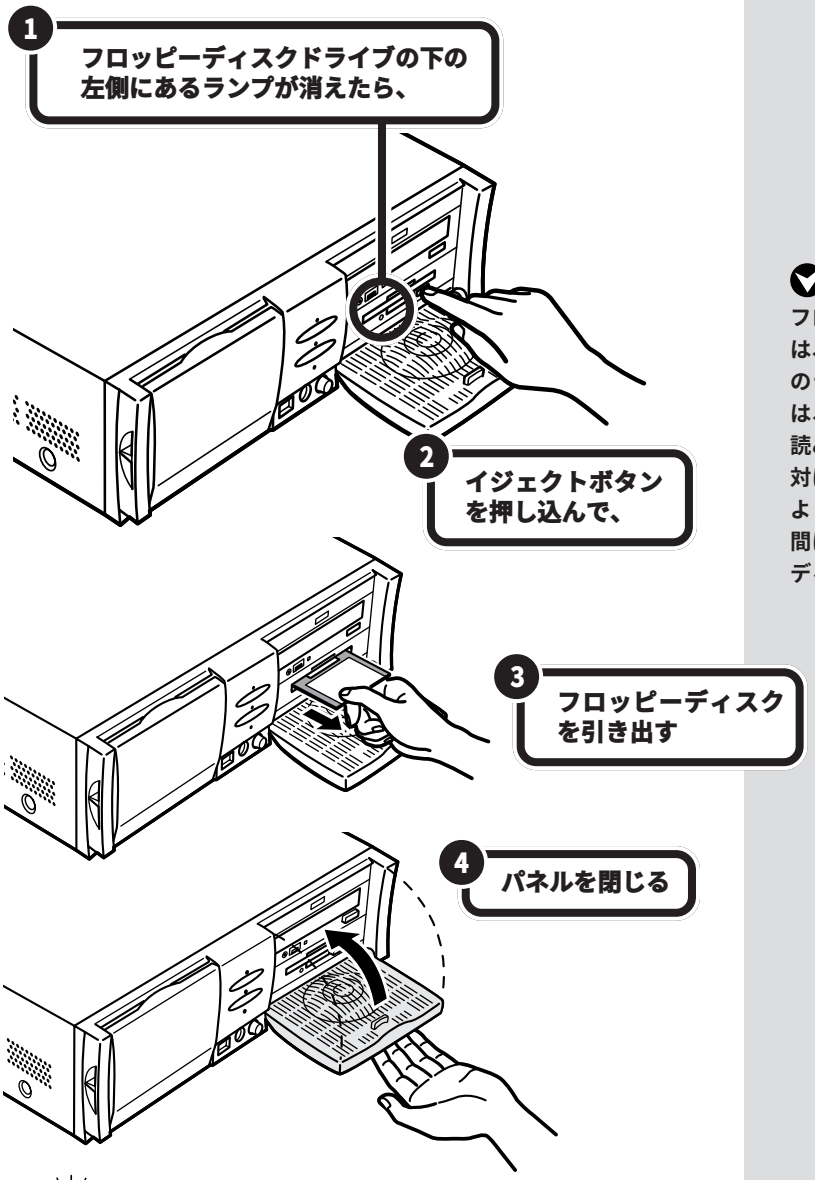
「このディスクはライトプロテクトされています」と表示されたら

「このディスクはライトプロテクトされています」と表示されたときは、セットしたフロッピーディスクに書き込みができません。このままでは、ファイルをコピーすることができません。
次の「フロッピーディスクを取り出す」に進んで、フロッピーディスクを取り出したら、「大切なフロッピーディスクはライトプロテクトしよう」(p.65) を読んでください。
書き込みしてはいけないフロッピーディスクだったら、ほかの書き込みしてもいいフロッピーディスクを使って、ファイルのコピーを練習してみてください。
書き込みしてもいいフロッピーディスクであれば、ライトプロテクトをはずしてから、もう一度、ファイルをコピーしてみてください。

フロッピーディスクを取り出す

フロッピーディスクドライブのランプが消えていることを確認して、フロッピーディスクを取り出します。

●デスクトップタイプの場合



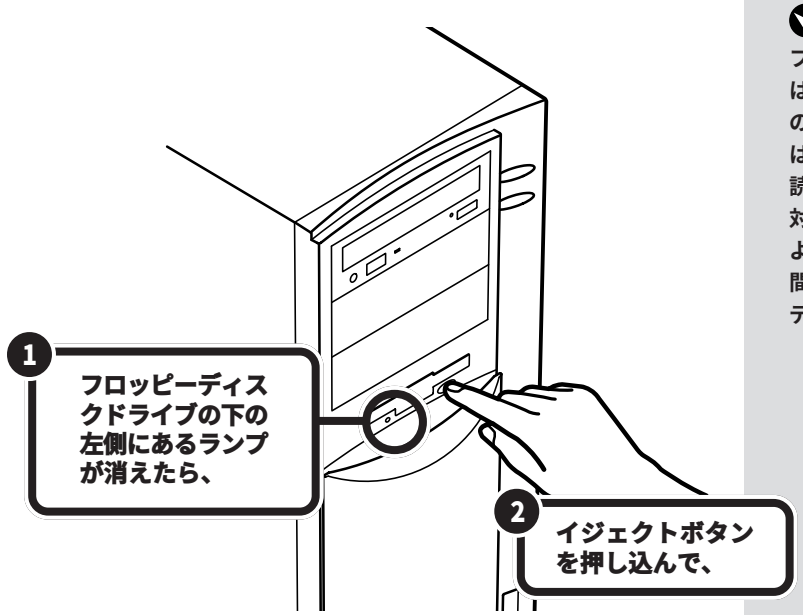
ポイント

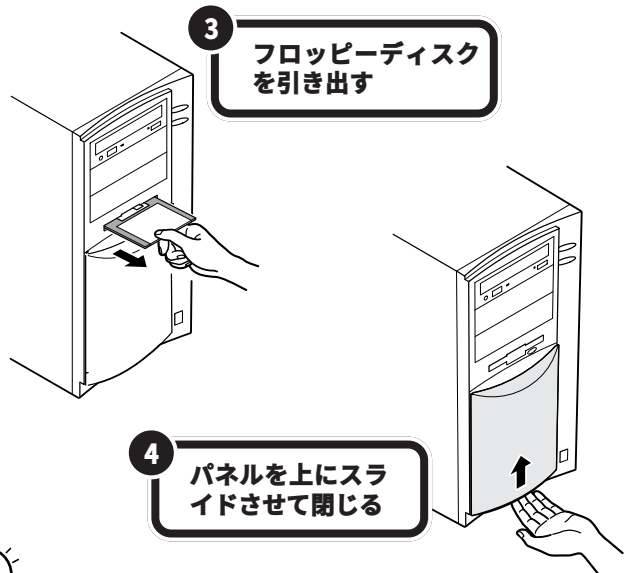
フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの下のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

チェック!!

フロッピーディスクドライブの下には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

●ミニタワータイプの場合





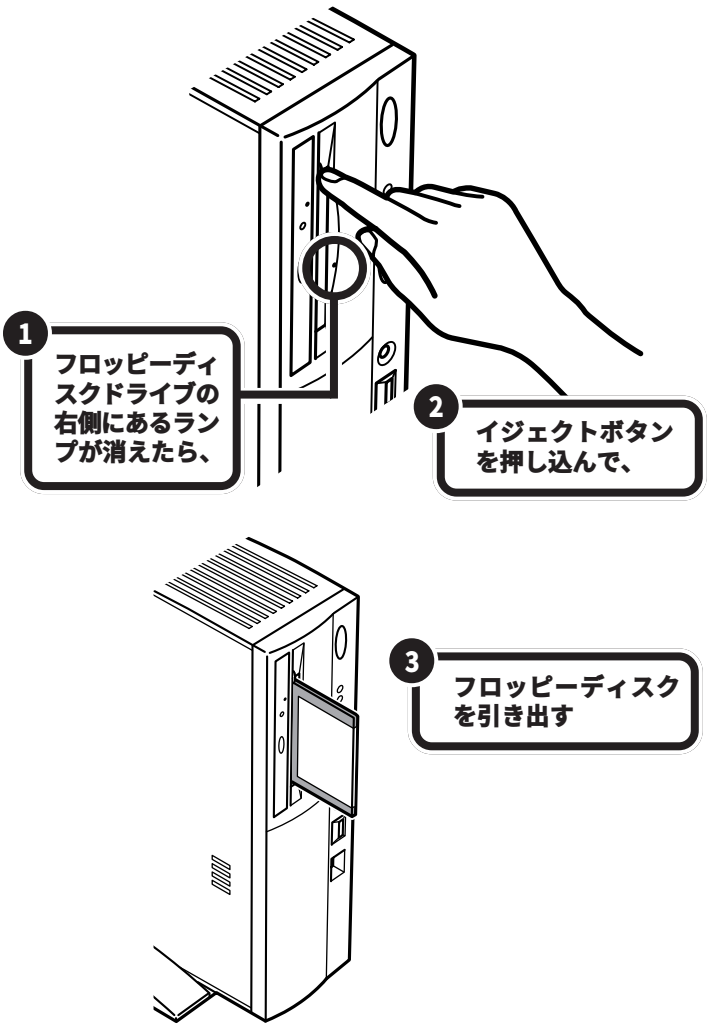
ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの下のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

チェック!!

フロッピーディスクドライブの下には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

●コンパクトタイプの場合



ポイント

フロッピーディスクを取り出すときは、ドライブの右のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

チェック!!

フロッピーディスクドライブの右には、小さなランプが付いています。このランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクドライブが読み書きをしているときなので、絶対に「イジェクトボタン」を押さないようにしてください。点滅している間に取り出そうとするとフロッピーディスクが壊れることがあります。

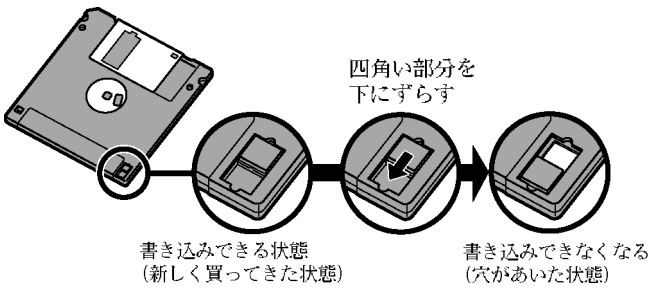
大切なフロッピーディスクはライトプロテクトしよう

フロッピーディスクには、カセットテープやビデオテープのように、記録されている内容をまちがって消したり書き換えてしまわないように、保護する機能があります。
これを、ライトプロテクト機能といいます。
カセットテープは、爪を折ると録音できなくなりますが、フロッピーディスクは、裏側のラベルのわきの四角い部分をずらして穴を開けると、書き込みができなくなります。

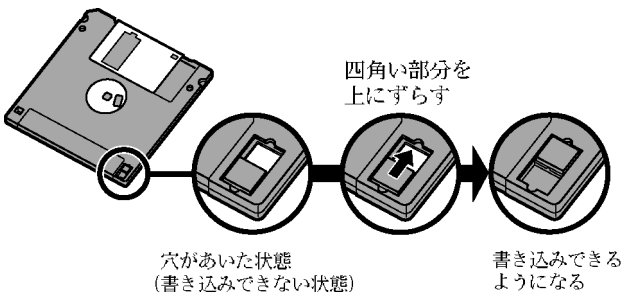
●書き込みできない状態にすると

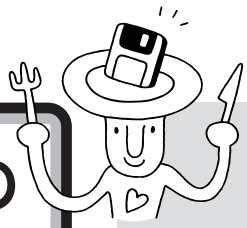
書き込みできない状態にすると、フロッピーディスクに保存されているファイルを読み込むことはできますが、ファイルを保存したり、フロッピーディスクに保存されているファイルを削除することはできません。
そのフロッピーディスクに保存されているファイルを開いて編集しても、そのフロッピーディスクには保存できません。
大切なファイルが入っているフロッピーディスクは、誤ってファイルを消去したり、書き換えてしまわないように、ライトプロテクトしておくといいでしょう。

●フロッピーディスクに書き込めないようにする（ライトプロテクトする）



●フロッピーディスクに書き込めるようにする（ライトプロテクトをはずす）





フロッピーディスクのファイルを開く

ここでは、フロッピーディスクに入っているデータを呼び出す方法を説明します。

さっきのフロッピーディスクにコピーしたファイルを画面に呼び出す（開く）方法を説明します。友人や同僚からフロッピーディスクをもらったときも、こうやってファイルを開くことができます。

用意したフロッピーディスクを、フロッピーディスクドライブに差し込みます。
ここでは、例として、p.60、61の手順で作ったフロッピーディスクを使います。

1 フロッピーディスクを入れる

2 （マイコンピュータ）をダブルクリックする

チェック!!

コンピュータウイルスについて

「コンピュータウイルス」って聞いたことはありませんか？
コンピュータウイルスは、まるで人間の病気の素となるウイルス（ビールス）のようにふるまう、たちの悪いソフトです。このコンピュータウイルスがパソコンの中に入ると、大切なデータやアプリケーションが壊されたり、パソコンが起動できなくなったりします。
持ち主のわからないフロッピーディスクを使うと、コンピュータウイルスに感染するおそれがあります。ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかを確認することをおすすめします。
このパソコンには、ウイルスチェックソフト「ウイルススキャン（VirusScan）」が添付されています。フロッピーディスクやハードディスクにウイルスが入っていないかをかんたんにチェックすることができます。

参照

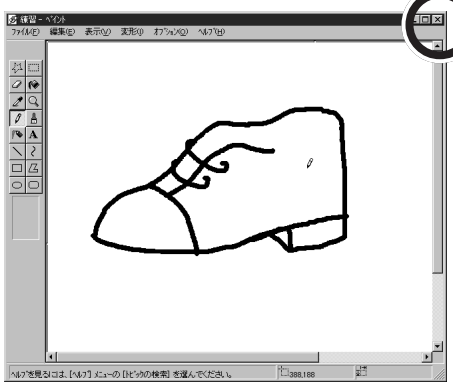
ウイルススキャンの使いかた→『リファレンス』PART 1の「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉」

3 (3.5 インチ FD (A:)) をダブルクリックする

フロッピーディスクの内容が表示される

4 「練習」をダブルクリックする

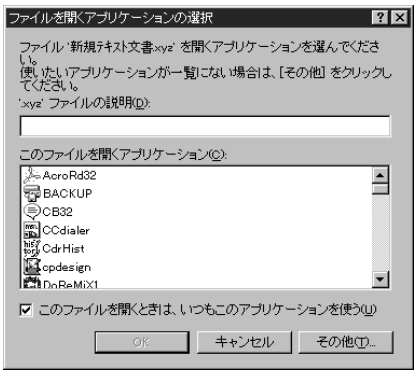
ペイントが起動し、「練習」が表示される



5 ☒ をクリックする

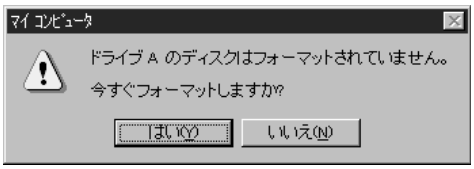
次のウィンドウが表示されたとき

「ファイルを開くアプリケーションの選択」という画面が表示されたら

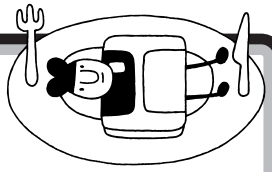


いま、開こうとしたファイルを作ったアプリケーションが、あなたのパソコンに入っていないときにこのメッセージが出ます。そのファイルを開くことはできません。フロッピーディスクを取り出して、持ち主に相談してください。

「今すぐフォーマットしますか？」と表示されたら



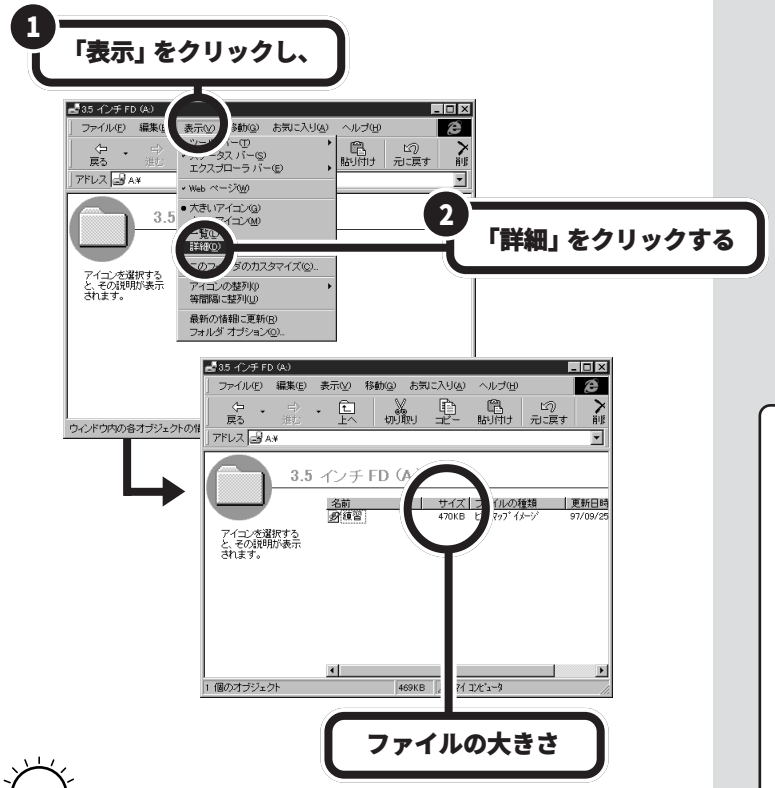
他の人からもらったフロッピーディスクや、未フォーマットのフロッピーディスクを入れたときなどは、上のように表示されることがあります。
このようなときは、「「今すぐフォーマットしますか？」と聞かれたとき」(p. 56) をご覧ください。



ファイルの大きさを見る

フロッピーディスクには、いろいろなファイルを入れることができますが、画像などの容量が大きなファイルをいくつも入れることはできません。
ファイルやフォルダのウィンドウの表示を変えて、ファイルの大きさを見てみましょう。

ファイルの大きさは、バイトという単位で測ります。アルファベットや数字などが1文字で1バイト、漢字やひらがななどの日本語の文字は1文字で2バイトになります。これらが集まって、1000バイト（正確には1024バイト）になると、それはkm（キロメートル）やkg（キログラム）などのようにKB（キロバイト）といいます。KBの千倍がMB（メガバイト）。ハードディスクの大きさを言うときに使うGB（ギガバイト）はさらにその千倍です。



ポイント

ファイルの容量は、バイト、KB（キロバイト）、MB（メガバイト）などを単位に数える。

用語

キロバイト　メガバイト　ギガバイト
KB、MB、GB

ファイルの容量などの情報の単位。KBはキロバイト、MBはメガバイトと読みます。1バイトの千倍が1KB（キロバイト）、その千倍が1MB（メガバイト）。さらにその千倍が1GB（ギガバイト）。2HDのフロッピーディスクの容量は1.44MB。つまり、約1400KBなので100KBのファイルが14個入ります。2GBのハードディスクには、フロッピーディスク約1400枚分のファイルを入れることができます。

このPARTのまとめ

ここでは、フロッピーディスクの使いかたを勉強しました。

フロッピーディスクを買うときは

新しいフロッピーディスクを買うときは、「3.5 インチ 2HD タイプ　Windows フォーマット済みフロッピーディスク」か「3.5インチ2HDタイプ DOS/Vフォーマット済みフロッピーディスク」を選んでください。「未フォーマットのフロッピーディスク」は、使う前に「フォーマット」の作業が必要です。

フロッピーディスクにファイルをコピーする

フロッピーディスクにファイルをコピーするときも、フロッピーディスクに入っているファイルをハードディスクにコピーするときも、ドラッグ＆ドロップでコピーできます。

フロッピーディスクを取り出す

フロッピーディスクドライブの下（または右）のランプが緑色に点滅していないことを確認して、イジェクトボタンを押してください。
フロッピーディスクドライブの下（または右）のランプが緑色に点滅しているときは、フロッピーディスクにファイルを保存したり、フロッピーディスクの内容を読み込んでいるときです。しばらく待ってください。

ファイルの大きさ

2HD のフロッピーディスクには、1.44MB（メガバイト）分のファイルが入ります。「MB」は「KB（キロバイト）」の千倍です。

PART

5

設定を変えてみよう

さて、ファイルのコピーや移動を卒業して、こんどは、デスクトップの背景の模様（壁紙）やスクリーンセーバーを変えてみましょう。ヘルプの使いかたも勉強しておくと、きっと役に立ちます。

画面の設定を変える

Windows 95では、次のように、画面の設定を変えることができます。

背景を変える

デスクトップの背景（地の部分）は、好きな模様や壁紙を選ぶことができます。「森」という壁紙を選んでみましょう。

1 デスクトップのなにもないところで右クリックする

メニューが表示される

2 「プロパティ」をクリックする

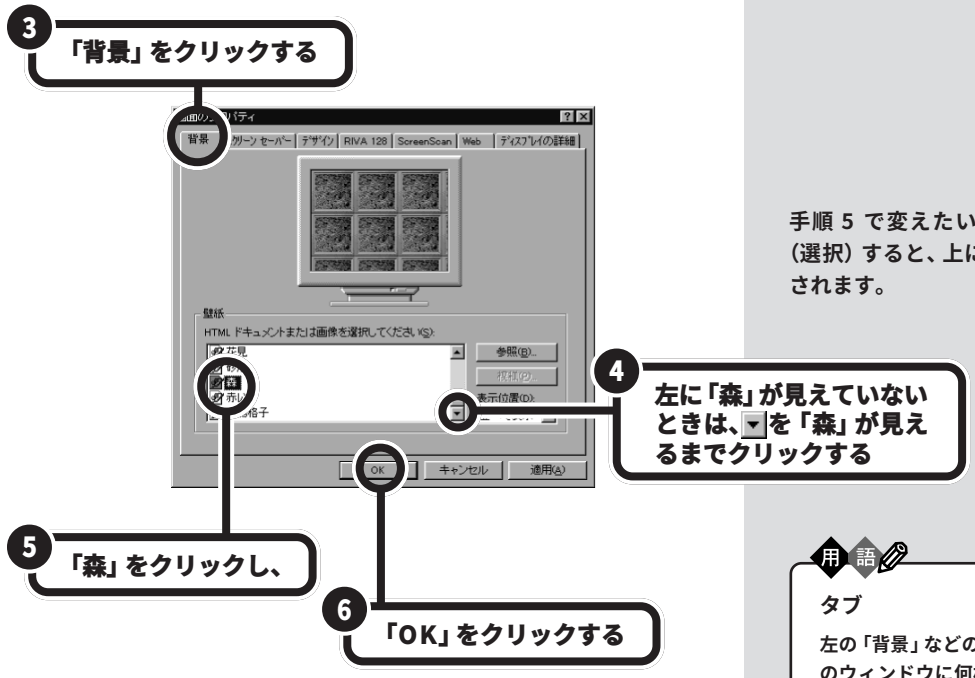
「画面のプロパティ」が表示されます。ここで解像度や背景やスクリーンセーバーの設定ができます。

用語

プロパティ

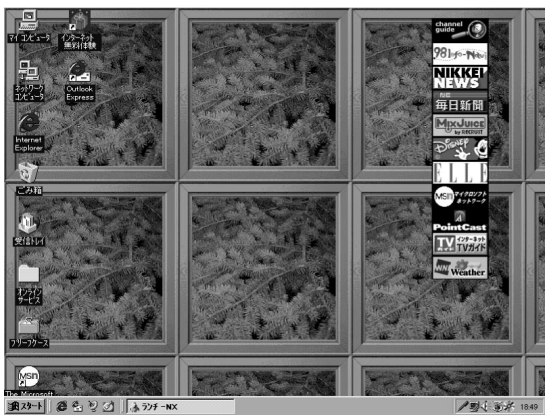
設定のこと。
Windows 95では、設定を変えたり、設定情報を見たいときは、「プロパティ」ウィンドウを表示します。
デスクトップのなにもないところを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックすると、「画面のプロパティ」、タスクバーのなにもないところでは「タスクバーのプロパティ」が表示されます。ドライブのアイコンでは、「ドライブのプロパティ」が表示され、ドライブ名を変更したり、容量を見たりすることができます。

機種によっては表示されるタブ（→p.73）が異なりますが、操作の内容は同じです。



手順 5 で変えたい画面をクリック（選択）すると、上にその見本が表示されます。

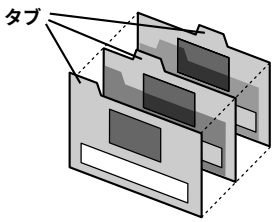
背景が「森」に変わります。



用語

タブ

左の「背景」などのように、ひとつのウィンドウに何枚かのシートが重なっているとき、ウィンドウの上の方に、それぞれのシートのタイトルをつけたものをタブといいます。左上の「画面のプロパティ」ウィンドウには、「背景」、「スクリーンセーバー」などのシートが重なっています。このタブをクリックすると、そのシートが表示されます。



ポイント

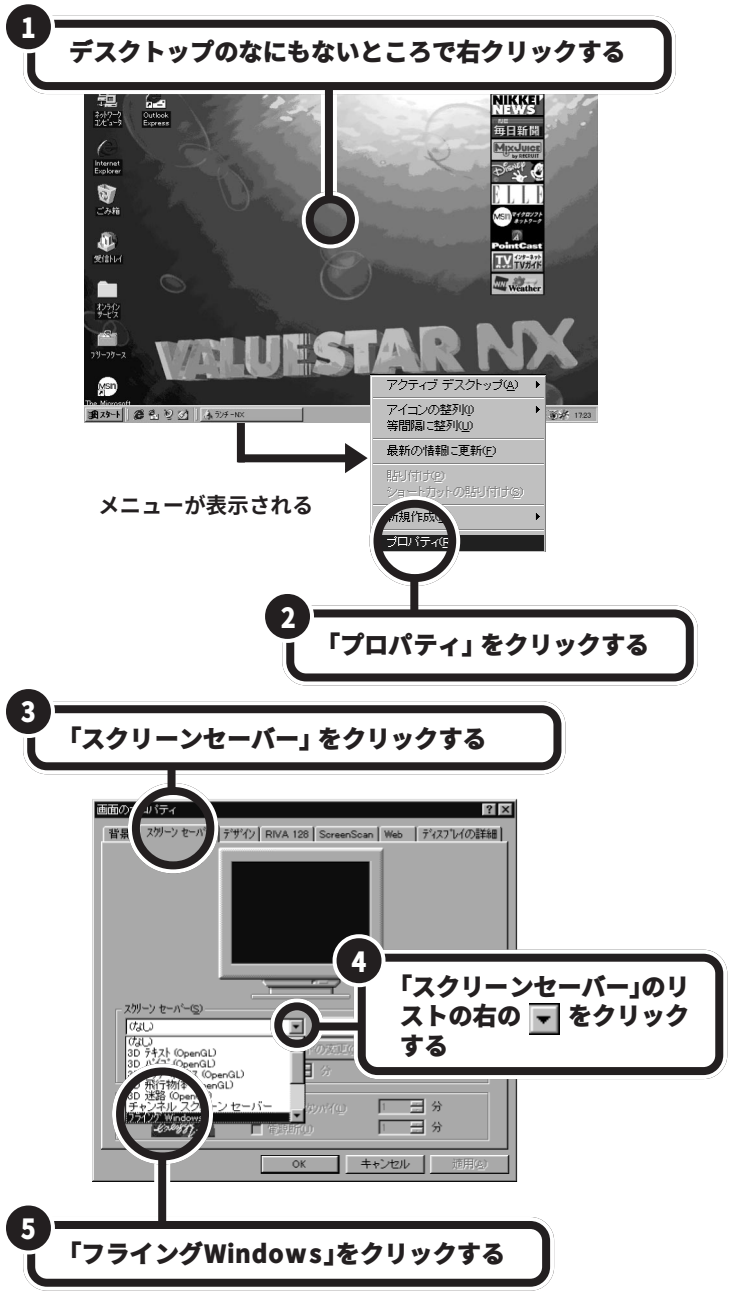
設定を変えるときに失敗しないコツは、設定を変える前にどんな設定になっていたかをメモしておくこと。新しい設定を試してみたけど、前の設定の方がよかったということがきっとある。

「表示位置」で「中央に表示」を選ぶと、デスクトップのまん中だけに壁紙が表示されます。「並べて表示」を選ぶと、デスクトップ全体が壁紙になります。
「模様」を選ぶときは、「壁紙」で、「(なし)」を選ぶか、「表示位置」で「中央に表示」を選んでください。

スクリーンセーバーを使う

パソコンを操作しないで放っておくと、いろいろな動画（スクリーンセーバー）が表示されるように設定することができます。この設定をすると、1分操作をしないとスクリーンセーバーの画面が表示されるようになります。

ここでは、「フライングWindows」というスクリーンセーバーを選んでみましょう。



用語

スクリーンセーバー

パソコンを起動したまま、操作をしないで放っておくと、同じ画面が表示されたままになるので、ディスプレイに跡がついてしまうことがあります。スクリーンセーバーは、これを防止するために、なにも操作しないで一定の時間が経過すると、自動的に動画が表示されるようにするものです。

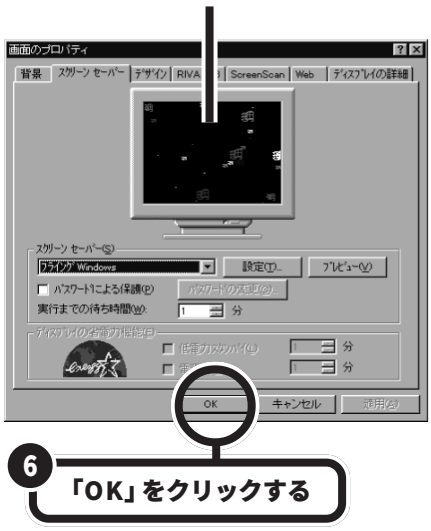
ただ、実際には、使っていないときの画面を楽しむためのアクセサリーと考えた方がいいでしょう。

ディスプレイの省電力機能

「ディスプレイの省電力機能」の設定もこのウィンドウでできます。

「低電力スタンバイ」が ☑（オン）になっているときは、右側に指定した時間の間、パソコンを操作しないと、ディスプレイの画面が消えます。電力を落として、スタンバイしているので、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押すと、すぐにまたディスプレイの画面が表示されます。パソコン本体の電源は入ったままです。

「電源断」が ☑（オン）になっているときは、右側に指定した時間の間、パソコンを操作しないと、ディスプレイの画面が消えます。ディスプレイの電源が切られるので、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押しても画面が表示されるまでに少し時間がかかります。このときも、パソコンの電源は入っています。



1分以上なにも操作をしないで待つと、スクリーンセーバーの画面になります。
マウスを動かすと、元の画面に戻ります。

「プレビュー」をクリックすると、選んだスクリーンセーバーが表示されます。マウスを動かすと、元の画面に戻ります。

何分間操作しないとスクリーンセーバーになるかを「実行までの待ち時間」で設定することができます。1分より短く設定することはできません。「実行までの待ち時間」の入力欄をクリックしてキーボードから入力するか、入力欄の右にあるボタンをクリックして設定します。

チェック!!

このパソコンは、購入時の状態では20分間以上、なにも操作しないと画面が消え、電力消費を抑える状態になるように設定されています。この機能をサスペンド機能（省電力機能）といいます。サスペンド機能が働いても、電源は入っています。

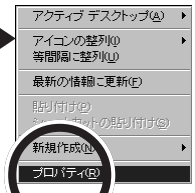
参照
サスペンド機能→『リファレンス』PART5の「サスペンド/レジューム機能」

画面の解像度を変える

画面が狭いと思うときは、解像度（デスクトップ領域）を大きく設定してください。文字が小さくて読みにくいときは、解像度を小さく設定してください。

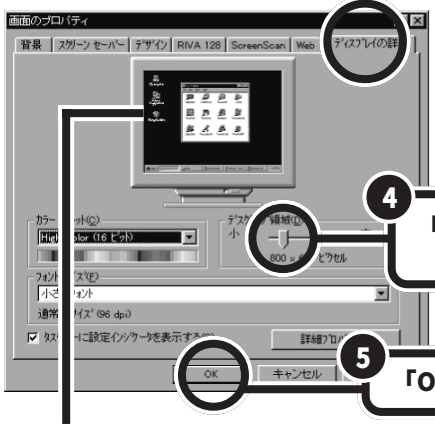
1 デスクトップの何もないところで右クリックする

メニューが表示される



2 「プロパティ」をクリックする

3 「ディスプレイの詳細」をクリックする



4 「デスクトップ領域」のつまみを左右にドラッグして、解像度を変更する

5 「OK」をクリックする

ディスプレイの絵の画面部分に、変更後のデスクトップの様子が表示される

用語

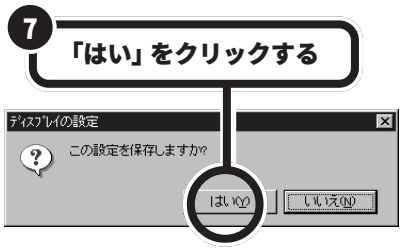
解像度

パソコンの画面は、たくさんの光の点（ピクセル）の集まりです。解像度は、画面の縦、横に、どれだけの点を表示するかを示します。解像度を上げると、画面上のものを細かく表示できるようになるので、アイコンやウィンドウが小さく表示され、その分、デスクトップが広く使えるようになります。

チェック!!

つまみを右に動かすと色数（カラーパレット）が変更されることがあります。

解像度が変わり、「ディスプレイの設定」ダイアログが表示されます。



●元に戻したいときは

このパソコンを購入したときは、解像度（デスクトップ領域）は「800 × 600ピクセル」に設定されています。元に戻したいときは、ここで行った操作をやり直してください。そのとき、「デスクトップ領域」のつまみは、「800 × 600 ピクセル」と表示される位置にドラッグしてください。
なお、VC23/3 では、「1024 × 768 ピクセル」に設定されています。

チェック!!

VC23/3 に添付の液晶ディスプレイ、VS30/3、VE26/3、VE23/3 に添付の 15 インチ CRT ディスプレイでは、1280 × 1024 ピクセルの解像度で表示することはできません。

画面の色数を変える

CD-ROMソフトなどには、画面に表示できる色数が256色でないと使えないものがあります。こういうソフトを使うときは、ソフトに合わせて画面の色数を変えてください。
ただ、画面の色数を減らすと、写真やイラストの微妙な濃淡が表現できなくなり、粗い画像になります。256色に設定するときと同じ方法で、元の設定にすることができるので、必要に応じて使い分けてください。

画面の色数を変えるとアプリケーションによっては色が正しく表示されない場合があります。

1 デスクトップのなにもないところで右クリックする

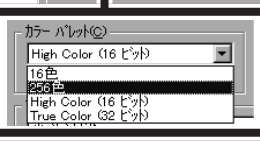
メニューが表示される

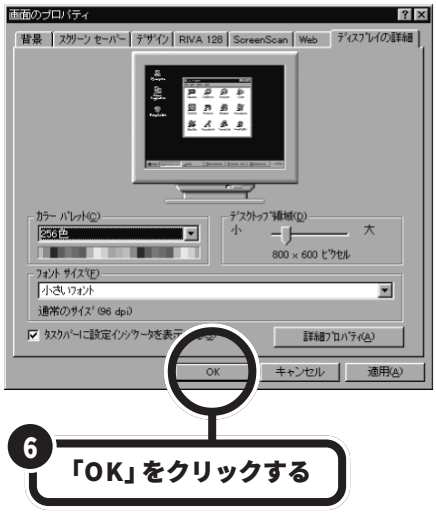
2 「プロパティ」をクリックする

3 「ディスプレイの詳細」をクリックする

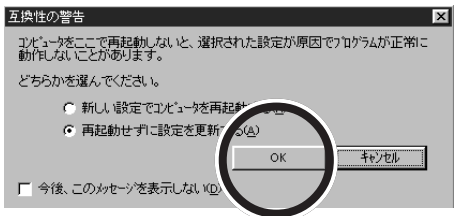
4 「カラーパレット」の ▼ をクリックする

5 「256色」をクリックする





6 「OK」をクリックする



7 「互換性の警告」と表示されたときは、「OK」をクリックする

画面の色数が変わります。

「プログラムが正常に動作しないことがあります」と表示されますが、異常ではありません。

このパソコンは、購入時には、「High Color（16ビット）」に設定されています。
同じように操作して、手順 5 で「High Color（16ビット）」を選ぶと元の色数に戻すことができます。

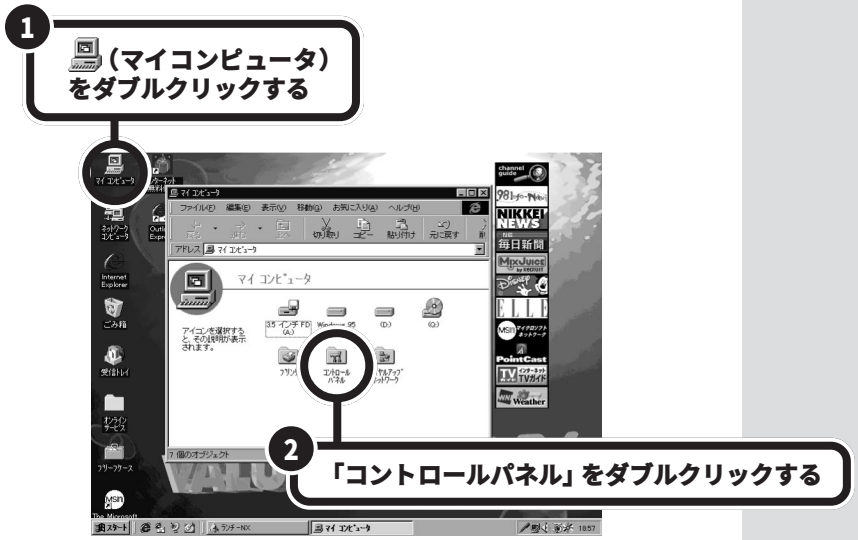
コントロール パネルを活用する

Windows 95のいろいろな設定をするときは、コントロールパネルを使います。

コントロールパネルを開く

コントロールパネルは、次のようにして表示します。

コントロールパネルは、次の方法で開くこともできます。

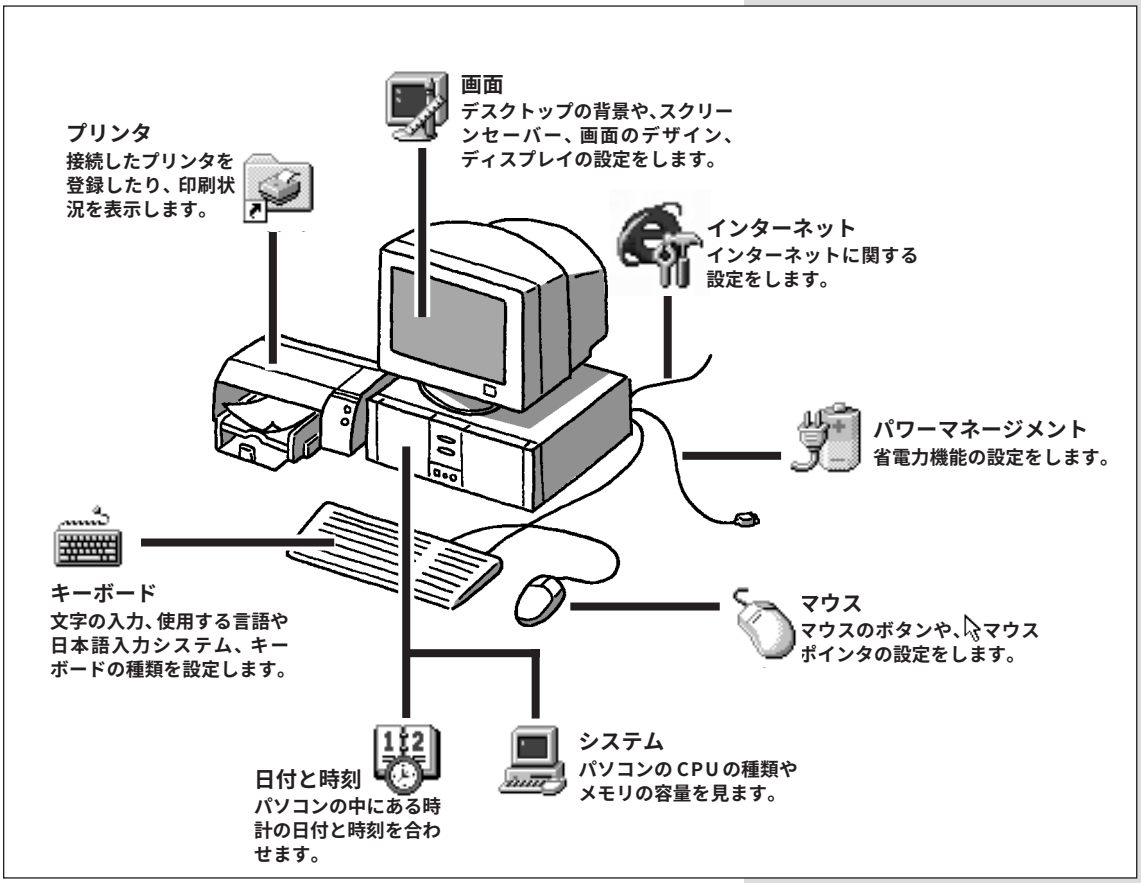


コントロールパネルが開きます。

「コントロールパネル」のアイコンをクリックすると、ウィンドウの左側にそのアイコンでどんなことができるかが表示されます。
アイコンを開くと、パソコンの周辺機器やフォントやアプリケーションなどいろいろな設定ができます。
パソコンを使いこなしていくにはきっと必要になってくると思いますが、いまは、ここにこういうものがあるということだけ知っておいてください。

このパソコンは、CyberTrio-NX（サイバートリオ・エヌエックス）というソフトによって、購入したままの状態では、「ベーシックモード」になっています。ベーシックモードでは、コントロールパネルの一部のアイコンは使用できません。また、「プリンタ」の一部の機能は使えません。使用できないアイコンで設定したいときは、CyberTrio-NX の設定をアドバンストモードに変えてください。

参照
CyberTrio-NX →『リファレンス』PART1 の「Windows 95 の利用環境の変更〈CyberTrio-NX〉」



ヘルプについて

Windows 95の操作がわからないときは、次のようにヘルプを表示します。
ヘルプには、Windows 95の操作方法がトピック別に説明されています。

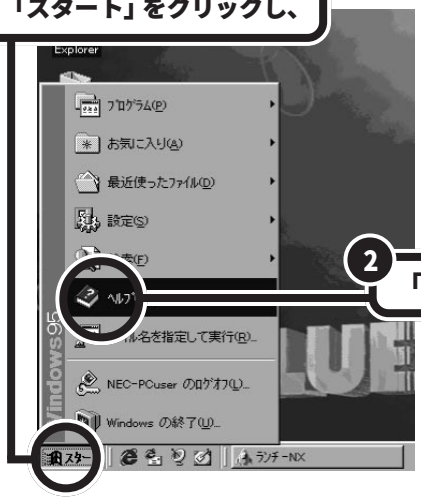
用語

ヘルプ

Windows 95や一太郎、Wordなどの使いかたをパソコンの画面上に表示するものです。つまり、パソコンの画面で見るマニュアルです。

Windows 95のヘルプを見る

1 「スタート」をクリックし、



2 「ヘルプ」をクリックする

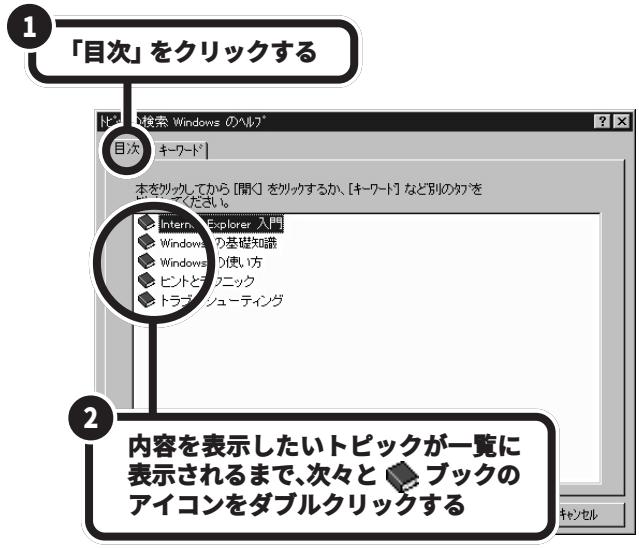
アプリケーションのヘルプは、メニューバーの「ヘルプ」メニューの中から選んで表示します。
Windows 95のヘルプは「スタート」のメニューから表示します。

追加情報にも重要な情報が記載されています。
追加情報は「ランチ-NX」の「メインメニュー」の「パソコン探検箱」をクリックし、「ちょっとした疑問にお答えします」をクリックして「追加情報」をクリックすると表示されます。

「トピックの検索」ウィンドウが表示されます。

●目次で探す

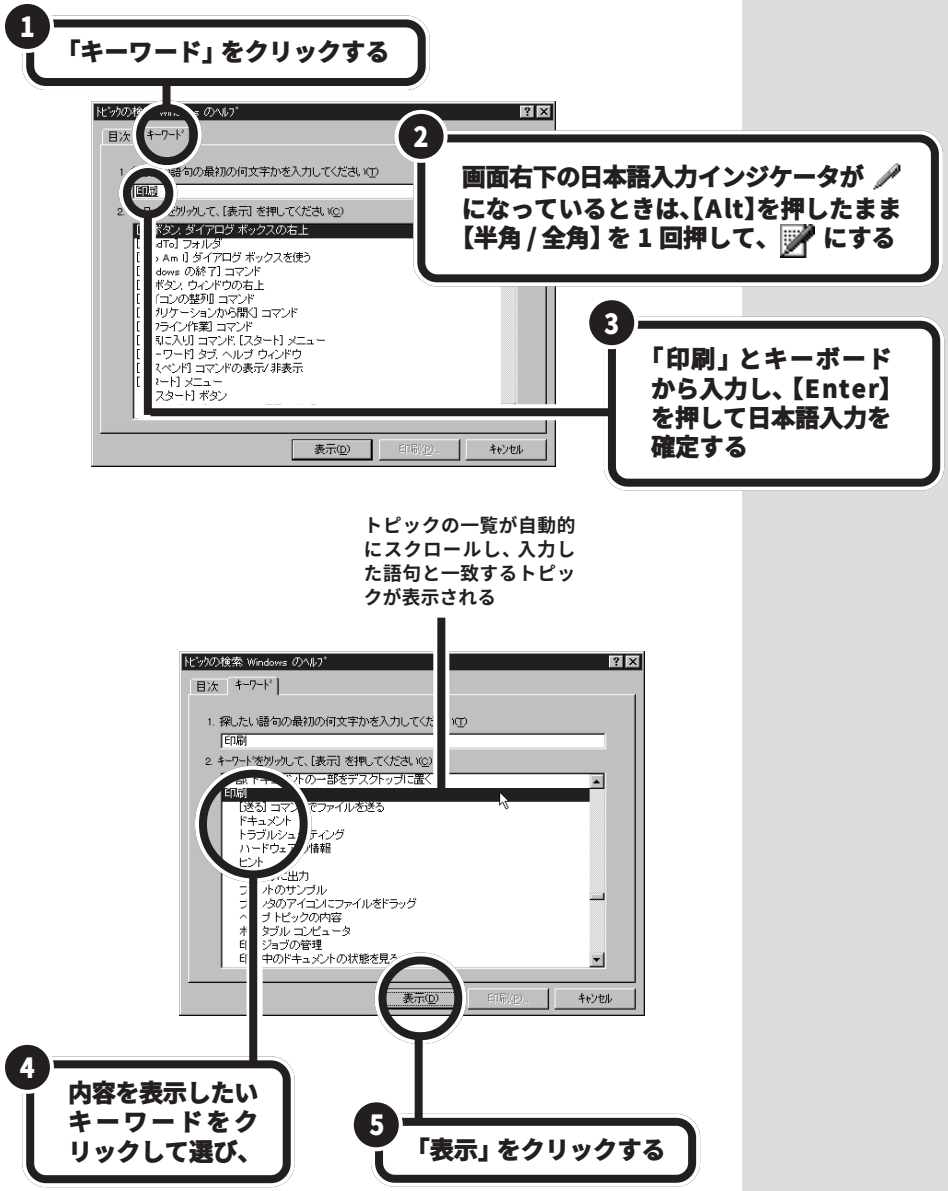
ブックと トピックの一覧が表示されます。ブックは、その中に、またいくつかの項目があることを示しています。ブックをダブルクリックすると、その中の項目が表示されます。



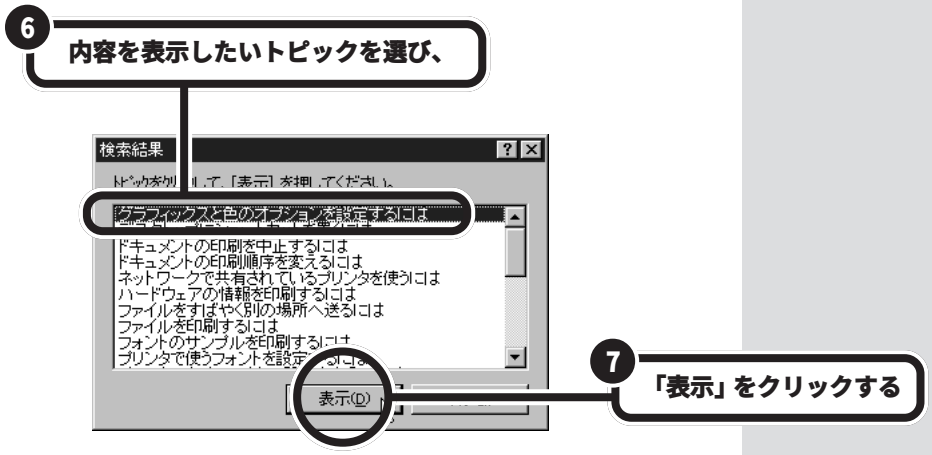
一太郎や Word などのアプリケーションにもヘルプがついています。アプリケーションのウィンドウの「ヘルプ」メニューの「目次」などを選ぶと、Windows 95のヘルプと同じ形の画面が表示されます。
アプリケーションの使いかたがわからないときに使ってみましょう。
また、ウィンドウによっては、右上に ?（ヘルプボタン）があるものがあります。この ? をクリックし、マウスポインタが ?? になったら、そのウィンドウの中の項目をクリックしてください。その項目の解説が表示されます。

●キーワードで探す

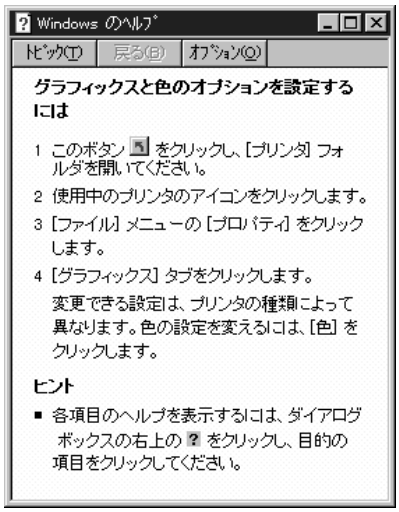
キーワードの例として印刷と入力します。



キーワードに関連する項目（トピック）が表示されます。



トピックの内容が表示されます。



このPARTのまとめ

ここでは、パソコンの設定の変えかたや、「ヘルプ」の使いかたについて見てきました。

画面の設定

画面に表示できる色数や解像度、スクリーンセーバー、壁紙などは、デスクトップのなにもないところで右クリックして、「プロパティ」を選び、表示されたウィンドウで設定します。

プロパティ

Windows 95の用語で設定のことです。

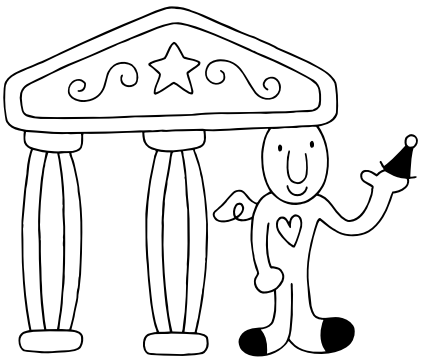
コントロールパネル

「コントロールパネル」を使うと、パソコンのいろいろな設定を変えることができます。

ヘルプ

Windows 95やアプリケーションの使いかたなどで、わからないことがあったら、「ヘルプ」を見てみましょう。パソコン上で調べることができます。
「Windows 95」のヘルプは、「スタート」メニューの「ヘルプ」から、アプリケーションのヘルプは、アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」メニューの中から選んで表示します。

付　録



アクティブ デスクトップの設定を変える

この本では、「インターネット エクスプローラ 4.01」のアクティブ デスクトップの使い方を説明しましたが、アクティブ デスクトップは、設定によって、従来の Windows 95 のデスクトップのようにしたり、クリックだけで、マイコンピュータやフォルダを開けるようにしたりすることができます。

従来の Windows 95 のデスクトップ

チャンネル バーを消す

アクティブ デスクトップのチャンネル バーが表示されないようにするには、次のように操作します。

1 チャンネル バーの上端に を持っていく。
チャンネル バーの縁に枠ができて、枠の右上に が表示されます。

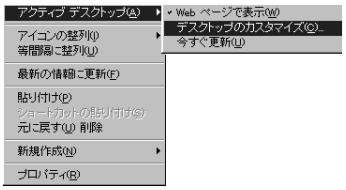
2 をクリックする。
チャンネル バーが消えます。

ここにを合わせて、 が表示されたら、クリックする

チャンネル バーを表示する

アクティブ デスクトップのチャンネル バーが表示されるようにするには、次のように操作します。

1 デスクトップのなにもないところで右クリックする。
メニューが表示されます。



2 「アクティブ デスクトップ」をポイントし、「デスクトップのカスタマイズ」をクリックする。
「画面のプロパティ」が表示されます。

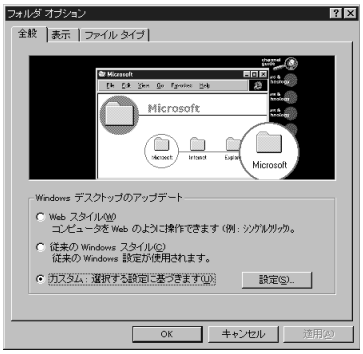
3 「Web」タブをクリックし、「Internet Explorer チャンネル バー」の をクリックして (オン)にして、「適用」をクリックし、「OK」をクリックする。

画面のプロパティ

クリックでフォルダを開けるようにする

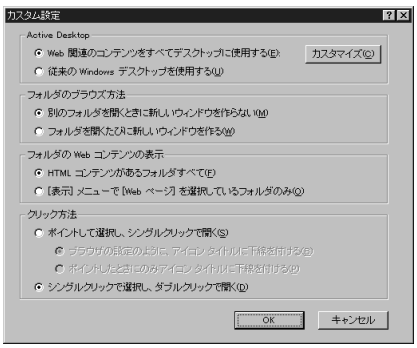
デスクトップのマイコンピュータやフォルダのアイコンをクリックしただけで開けるようにするには、次のように操作します。
をアイコンに合わせただけで、アイコンの色が変わり、1回クリックしただけで開くようになります。

1 「スタート」をクリックし、「設定」に を合わせ、「フォルダオプション」をクリックする。
「フォルダオプション」が表示されます。



2 「全般」の「カスタム」の をクリックして、 (オン)にする。

3 「設定」をクリックする。
「カスタム設定」が表示されます。



4 「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」の をクリックして、 にする。
「シングルクリック」というのは、普通の1回だけマウスの左ボタンを押すクリックのことです。ダブルクリックに対して普通のクリックを「シングルクリック」といいます。

5 「OK」をクリックする。

6 「フォルダオプション」の「閉じる」をクリックする。

従来の Windows 95 に近いデスクトップにする

アクティブ デスクトップでは、フォルダを開くと、開いていたウィンドウにそのフォルダの内容が表示されますが、従来の Windows 95 のデスクトップのように、フォルダを開くと新しいウィンドウが開く設定にすることができます。

1 「スタート」をクリックし、「設定」に を合わせ、「フォルダオプション」をクリックする。
「フォルダオプション」が表示されます。

2 「全般」の「従来の Windows スタイル」の をクリックして、 (オン)にする。

3 「OK」をクリックする。

フォルダオプション

アクティブ デスクトップの設定に戻す

従来の Windows 95 のデスクトップに近い設定にしたものを、またアクティブ デスクトップの設定に戻すには次のように操作します。

1 「スタート」をクリックし、「設定」に を合わせ、「フォルダオプション」をクリックする。
「フォルダオプション」が表示されます。

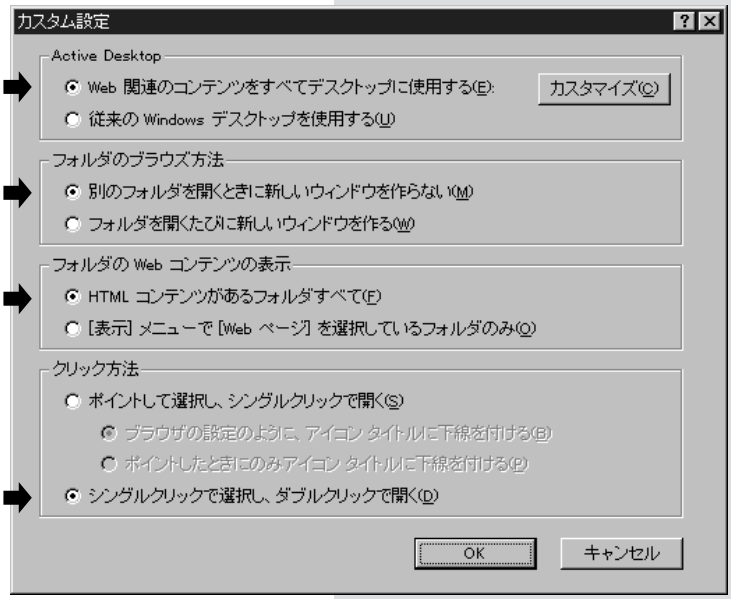
2 「全般」の「カスタム」の をクリックして、 (オン)にする。

3 「設定」をクリックする。
「カスタム設定」が表示されます。

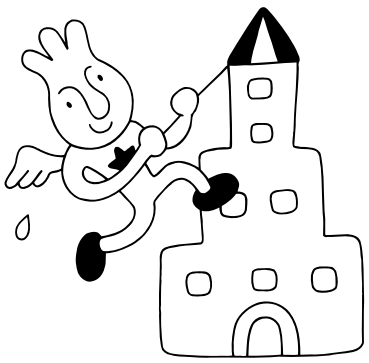
4 右に記載した画面で になっている部分(➡で示した部分)をすべてクリックして、右の画面と実際の画面が同じようになるようにする。

5 「OK」をクリックする。

6 「フォルダオプション」の「閉じる」をクリックする。



索　引



数字

256色 78
2DD 50
2HD 50
3.5インチ 50
3.5インチFD（A:） 7
5インチ（5.25インチ） 50
8インチ 50

英字

CD-ROMドライブ 7
CPU 81
CyberCoach-NX 4
CyberTrio-NX 81
Cドライブ 8
GB（ギガバイト） 69
High Color（16ビット） 79
KB（キロバイト） 69
MB（メガバイト） 69
（Q:） 7
Windows 95 88
Windows 95（C:） 7

あ行

アイコン 2
アクセサリ 24
アクティブ デスクトップ 1, 88
新しいフォルダ 19
移動 30
今すぐフォーマットしますか？ 56
色数 78
インジケータ 3
インターネット エクスプローラ4.01 .. 1, 88
ウイルス 66
ウィンドウが重なって、見えないとき 35
ウィンドウズ 95（Windows 95） 88
ウィンドウの大きさを変える 35
ウィンドウを動かす 35
ウィンドウを手前にする 35
上へ 15
エクスプローラ 11

か行

解像度 76
カラーパレット 78
キーワード（ヘルプ） 84
ギガバイト 69
キロバイト 69
検索 45
このディスクは
ライトプロテクトされています 61
コピー 36
ごみ箱 2, 40
コントロールパネル 80
コンピュータウイルス 66

さ行

サイズ 47
サイバーコーチ・エヌエックス
（CyberCoach-NX） 4
サイバートリオ・エヌエックス
（CyberTrio-NX） 81
削除 40
サスペンド 75
サブフォルダ 46
シーディーロムドライブ
（CD-ROMドライブ） 7
シーピーユー（CPU） 81
時刻 81
ショートカット 43
省電力機能 75
シングルクリック 89
スクリーンセーバー 74
スクロール 9
スクロールバー 9
スタート 2, 23
スタートメニュー 23
設定 71

た行

タスクバー 3
タブ 73
チャンネル バー 3, 88
追加情報 82
ディスク 6

ディスプレイの省電力機能 74
デスクトップ 2, 88
閉じる 10
トピック 83
ドライブ 6
ドラッグ 9
ドラッグ&ドロップ 30

な行

日本語入力インジケータ 22

は行

バイト 69
パソコン探検箱 82
日付 81
開く 8
ファイルの上書きの確認 39
ファイルのアイコン 9
ファイルの種類 47
ファイル名、フォルダ名に使えない文字 ... 22
ファイル名を変える 22
ファイルを移動する 30
ファイルを検索する 45
ファイルをコピーする 36
ファイルを探す 45
ファイルを整理する 17
ファイルを開くアプリケーションの選択 ... 68
ファイルを保存する 25
フォーマット 51
フォルダ 8
フォルダ名を変える 22
フォルダをコピーする 36
フォルダを作る 19
複数のファイルを選ぶ 38
複数のフォルダを選ぶ 38
ブック 83
プログラム 11, 23
フロッピーディスク 49
フロッピーディスクドライブ 53
プロパティ 72
ベーシックモード 81
ペイント 23
ペイントを終わる 27
ヘルプ 82
ヘルプのキーワード 84
ヘルプの目次 83

ま行

マイコンピュータ 2, 6
メガバイト 69
目次（ヘルプ） 83

ら行

ライトプロテクト 65
ランチ-NX 2

わかる、できる、役に立つ!!

Step3 活用

PC98-NX SERIES

VALUESTAR NX

初版 1998年6月
NEC
P

808-881444-163-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。